Business　Survey　Index　　令和 2 年 4-6 月 第 126 回

企業経営者意識調査

1 令和 2 年 4-6 月の概要　P 1

2 調査結果

1　経営状況　P 4
2　雇用状況　P 8
3　在庫、価格水準　P 12
4　設備投資の状況　P 14
5　地域別にみる各産業の動向　P 16
6　道内の景況感　P 24
7　業種・地域別企業経営者の声　P 25
8　業況感の長期推移　P 30

3 特別調査

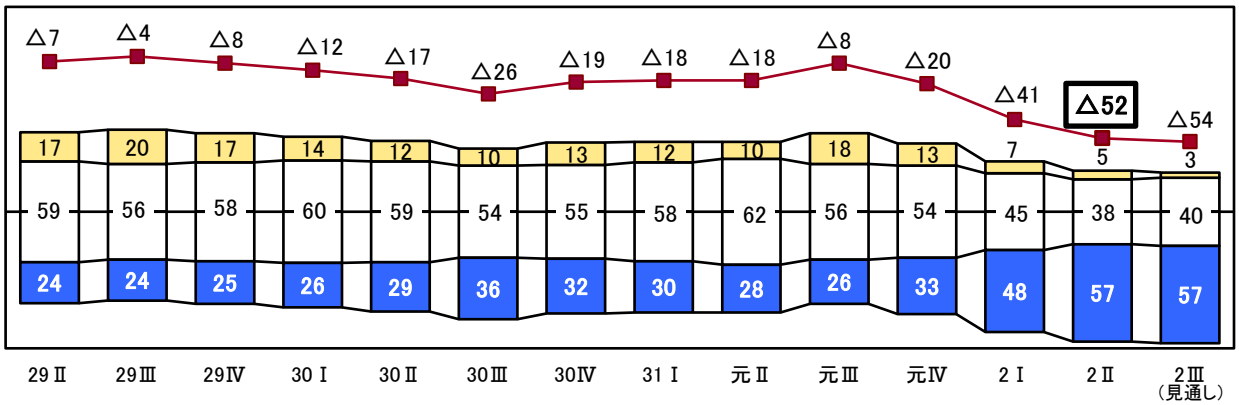
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　P 31

4 調査方法　P 34

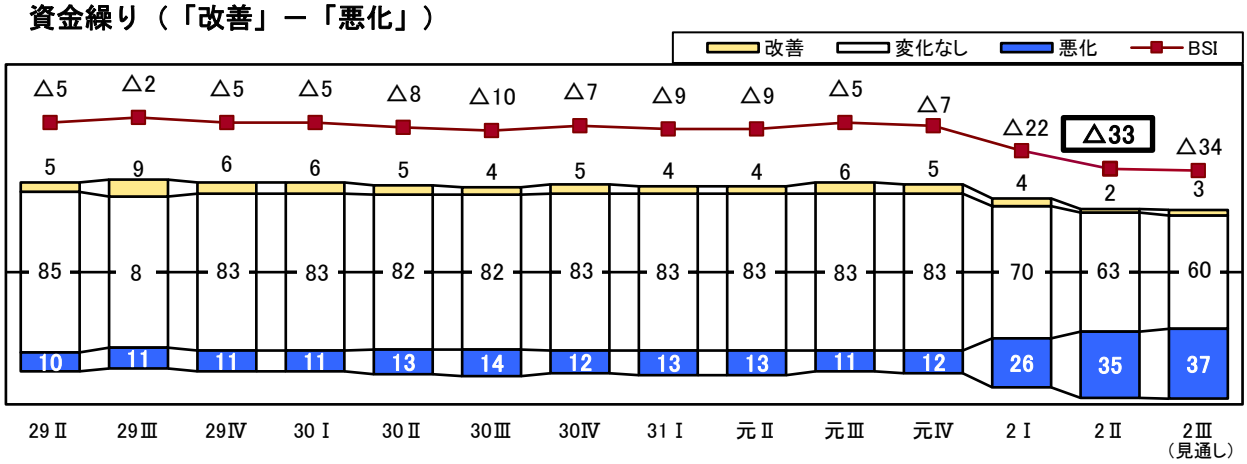
1　令和 2 年 4-6 月の概要

□ 調査対象企業数 900 社、回答社数 639 社、回答率 71.0%
□ 業況感は、前期から 11 ポイント下降し、△52 ポイント。（３期連続で下降）
・ 平成 20 年のリーマンショック時に記録した△53 に迫る低水準。
・ 業種別では、すべての業種で下降。　地域別では、すべての地域で下降。
・ 来期（7-9 月）見通しは、今期から 2 ポイント下降し、△54 ポイント。
□ 資金繰りは、前期から 11 ポイント下降し、△33 ポイント。
□ 雇用者の不足感は、前期から 19 ポイント下降し、21 ポイント。

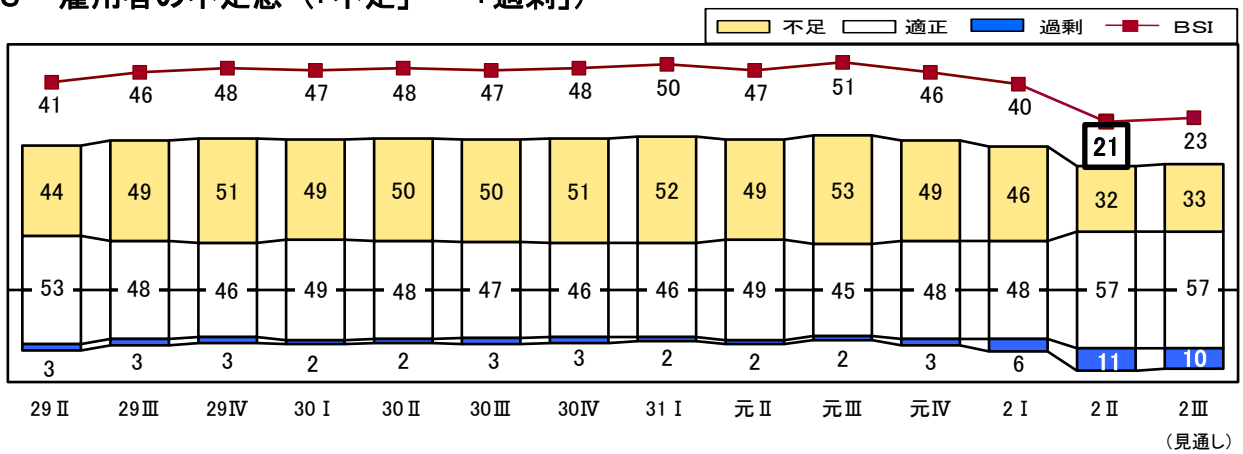
1　業況感（「上昇」－「下降」）



2　資金繰り（「改善」－「悪化」）



3　雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



４　業種・地域別の業況感

（１） 実績と見通し

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 41	5	38	57	△ 52	△ 11	3	40	57	△ 54	△ 2
業種	建設業	△ 10	5	69	26	△ 21	△ 11	6	61	33	△ 27	△ 6
	製造業	△ 31	4	44	52	△ 48	△ 17	5	38	57	△ 52	△ 4
	卸売･小売業	△ 56	6	27	67	△ 61	△ 5	3	31	66	△ 63	△ 2
	運輸業	△ 43	7	34	59	△ 52	△ 9	1	41	58	△ 57	△ 5
	サービス業	△ 50	3	27	70	△ 67	△ 17	2	34	64	△ 62	5
資本金	5千万円未満	△ 48	4	35	61	△ 57	△ 9	3	37	60	△ 57	0
	5千万以上～1億円未満	△ 31	4	47	49	△ 45	△ 14	3	45	52	△ 49	△ 4
	1億円以上	△ 17	8	40	52	△ 44	△ 27	5	43	52	△ 47	△ 3
地域	道南	△ 55	2	40	58	△ 56	△ 1	5	40	55	△ 50	6
	道央	△ 32	7	36	57	△ 50	△ 18	4	39	57	△ 53	△ 3
	道北	△ 42	1	43	56	△ 55	△ 13	3	37	60	△ 57	△ 2
	オホーツク	△ 46	4	44	52	△ 48	△ 2	1	45	54	△ 53	△ 5
	十勝	△ 46	4	30	66	△ 62	△ 16	5	27	68	△ 63	△ 1
	釧路･根室	△ 42	3	41	56	△ 53	△ 11	3	44	53	△ 50	3

（２） 主な上昇･下降業種（中分類）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （▲10→▲21）		総合工事業（▲11→▲14）、設備工事業（▲9→▲64）
製造業 （▲31→▲48）	窯業・土石製品製造業 （▲50→▲45） 輸送用機械器具製造業 （▲29→0）	食料品製造業（▲35→▲52） 木材・木製品製造業（▲50→▲70） 化学工業（▲20→▲40） 金属製品製造業（▲50→▲54） 生産用機械器具製造業（▲46→▲70）
卸売･小売業 （▲56→▲61）	機械器具小売業 （▲72→▲55） その他の小売業 （▲78→▲65）	繊維・衣類等卸売業（▲40→▲80） 飲食料品卸売業（▲65→▲67） 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲27→▲48） 機械器具卸売業（▲11→▲60）、その他の卸売業（▲40→▲71） 織物･衣服･身の回り品小売業（▲83→▲100） 飲食料品小売業（▲54→▲55）
運輸業 （▲43→▲52）	倉庫業（5→6）	道路旅客運送業（▲92→▲100） 道路貨物運送業（▲32→▲41）
サービス業 （▲50→▲67）		情報サービス業（0→▲37）、物品賃貸業（▲8→▲59） 技術サービス業（▲26→▲30）、飲食店（▲73→▲100） 洗濯･理容･美容･浴場業（▲46→▲86） 廃棄物処理業（0→▲43）、自動車整備業（▲50→▲55） 機械等修理業（17→▲40） 職業紹介･労働者派遣業（▲40→▲60） その他の事業サービス業（0→▲33）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

（３）地域別の上昇･下降業種（大分類）

地　域	上昇業種（大分類）	下降業種（大分類）
道南（▲55→▲56）	建設業（▲15→0） 製造業（▲50→▲47）	卸売･小売業（▲61→▲81） 運輸業（▲44→▲54）
道央（▲32→▲50）		建設業（0→▲15） 製造業（▲33→▲43） 卸売･小売業（▲47→▲61） 運輸業（▲27→▲46） サービス業（▲35→▲63）
道北（▲42→▲55）	運輸業（▲63→▲62）	建設業（▲13→▲23）、製造業（▲30→▲53） 卸売･小売業（▲69→▲73） サービス業（▲41→▲64）
オホーツク（▲46→▲48）	建設業（▲31→▲15） 卸売･小売業（▲62→▲43） 運輸業（▲50→▲46）	製造業（▲17→▲50） サービス業（▲65→▲74）
十勝（▲46→▲62）	サービス業（▲65→▲63）	建設業（▲9→▲50） 製造業（▲29→▲71） 卸売･小売業（▲71→▲75） 運輸業（▲42→▲46）
釧路･根室（▲42→▲53）	卸売･小売業（▲46→▲34）	建設業（▲9→▲40）、製造業（▲18→▲33） 運輸業（▲46→▲67） サービス業（▲72→▲75）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

2　調査結果

1　経営状況

（1）　業況感

今期の業況感ＢＳＩは △ 52 （前期から 11 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大

来期の業況感ＢＳＩは △ 54 （今期から 2 ポイント下降）

図1-(1) 業況感

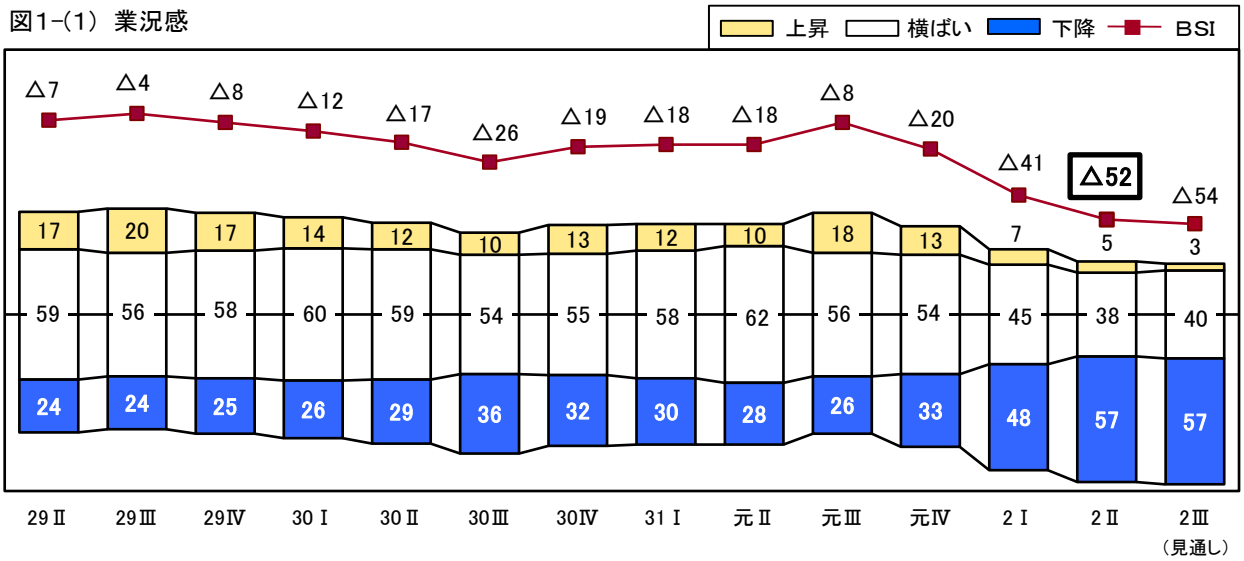


表1-(1) 業況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 41	5	38	57	△ 52	△ 11	3	40	57	△ 54	△ 2
	札幌市を除く	△ 46	4	38	58	△ 54	△ 8	4	38	58	△ 54	0
	札幌市	△ 21	7	37	56	△ 49	△ 28	2	42	56	△ 54	△ 5
業種	建設業	△ 10	5	69	26	△ 21	△ 11	6	61	33	△ 27	△ 6
	製造業	△ 31	4	44	52	△ 48	△ 17	5	38	57	△ 52	△ 4
	卸売･小売業	△ 56	6	27	67	△ 61	△ 5	3	31	66	△ 63	△ 2
	運輸業	△ 43	7	34	59	△ 52	△ 9	1	41	58	△ 57	△ 5
	サービス業	△ 50	3	27	70	△ 67	△ 17	2	34	64	△ 62	5
資本金	5千万円未満	△ 48	4	35	61	△ 57	△ 9	3	37	60	△ 57	0
	5千万以上～1億円未満	△ 31	4	47	49	△ 45	△ 14	3	45	52	△ 49	△ 4
	1億円以上	△ 17	8	40	52	△ 44	△ 27	5	43	52	△ 47	△ 3
地域	道南	△ 55	2	40	58	△ 56	△ 1	5	40	55	△ 50	6
	道央	△ 32	7	36	57	△ 50	△ 18	4	39	57	△ 53	△ 3
	札幌市を除く	△ 45	7	33	60	△ 53	△ 8	5	38	57	△ 52	1
	札幌市	△ 21	7	37	56	△ 49	△ 28	2	42	56	△ 54	△ 5
	道北	△ 42	1	43	56	△ 55	△ 13	3	37	60	△ 57	△ 2
	オホーツク	△ 46	4	44	52	△ 48	△ 2	1	45	54	△ 53	△ 5
	十勝	△ 46	4	30	66	△ 62	△ 16	5	27	68	△ 63	△ 1
	釧路･根室	△ 42	3	41	56	△ 53	△ 11	3	44	53	△ 50	3

（２）　売上（生産）高

今期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 53　（前期から 15 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大

来期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 54　（今期から１ポイント下降）

図1-(2)　売上(生産)高

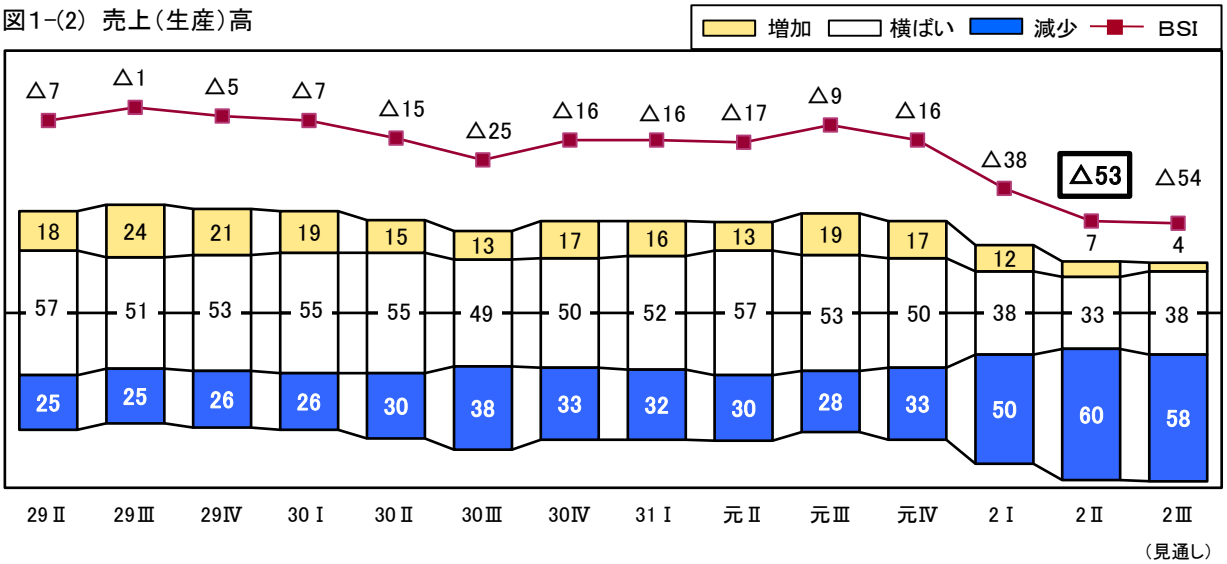


表1-(2)　売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 38	7	33	60	△ 53	△ 15	4	38	58	△ 54	△ 1
	札幌市を除く	△ 43	6	34	60	△ 54	△ 11	4	37	59	△ 55	△ 1
	札幌市	△ 20	8	33	59	△ 51	△ 31	4	41	55	△ 51	0
業種	建設業	△ 3	10	56	34	△ 24	△ 21	6	59	35	△ 29	△ 5
	製造業	△ 28	6	38	56	△ 50	△ 22	9	30	61	△ 52	△ 2
	卸売･小売業	△ 58	7	26	67	△ 60	△ 2	2	32	66	△ 64	△ 4
	運輸業	△ 41	10	29	61	△ 51	△ 10	3	41	56	△ 53	△ 2
	サービス業	△ 47	4	26	70	△ 66	△ 19	2	34	64	△ 62	4
資本金	5千万円未満	△ 44	5	32	63	△ 58	△ 14	4	35	61	△ 57	1
	5千万以上～1億円未満	△ 27	8	37	55	△ 47	△ 20	4	40	56	△ 52	△ 5
	1億円以上	△ 21	11	36	53	△ 42	△ 21	5	46	49	△ 44	△ 2
地域	道南	△ 51	7	32	61	△ 54	△ 3	6	34	60	△ 54	0
	道央	△ 33	9	29	62	△ 53	△ 20	5	39	56	△ 51	2
	札幌市を除く	△ 46	9	27	64	△ 55	△ 9	6	37	57	△ 51	4
	札幌市	△ 20	8	33	59	△ 51	△ 31	4	41	55	△ 51	0
	道北	△ 40	2	44	54	△ 52	△ 12	2	40	58	△ 56	△ 4
	オホーツク	△ 43	7	38	55	△ 48	△ 5	1	42	57	△ 56	△ 8
	十勝	△ 39	6	29	65	△ 59	△ 20	4	27	69	△ 65	△ 6
	釧路･根室	△ 33	5	37	58	△ 53	△ 20	5	40	55	△ 50	3

（３）　経常利益

今期の経常利益ＢＳＩは △ 58（前期から 19 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大

来期の経常利益ＢＳＩは △ 56（今期から 2 ポイント上昇）

図1-(3) 経常利益

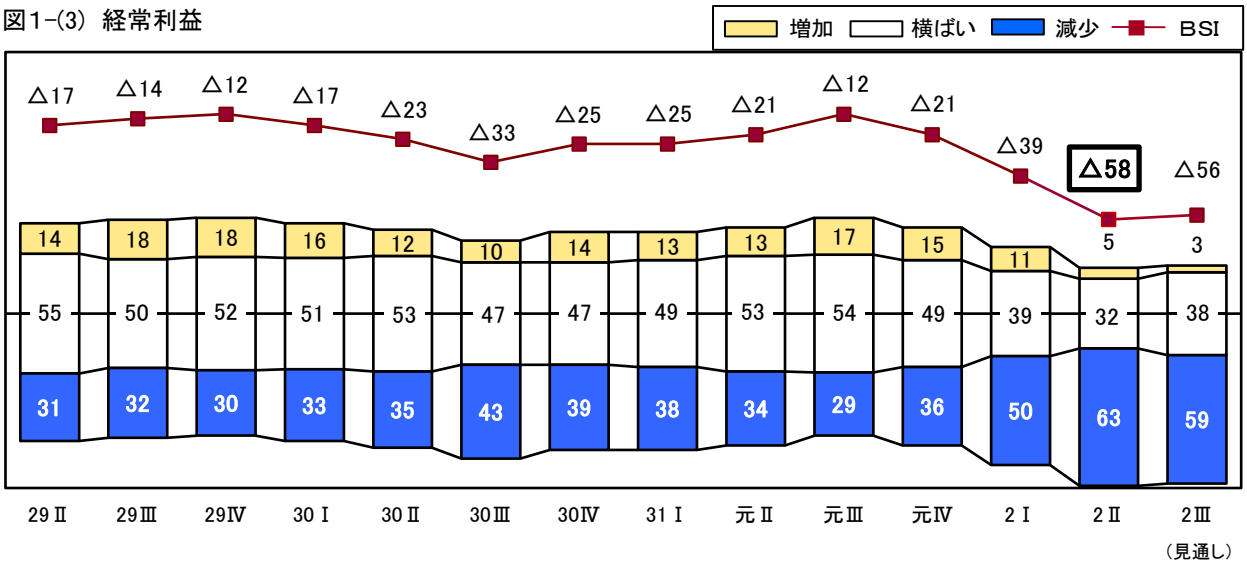


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 39	5	32	63	△ 58	△ 19	3	38	59	△ 56	2
	札幌市を除く	△ 44	4	33	63	△ 59	△ 15	4	36	60	△ 56	3
	札幌市	△ 18	7	31	62	△ 55	△ 37	3	41	56	△ 53	2
業種	建設業	△ 11	6	50	44	△ 38	△ 27	7	55	38	△ 31	7
	製造業	△ 31	4	30	66	△ 62	△ 31	5	34	61	△ 56	6
	卸売･小売業	△ 51	3	30	67	△ 64	△ 13	2	32	66	△ 64	0
	運輸業	△ 36	9	29	62	△ 53	△ 17	0	41	59	△ 59	△ 6
	サービス業	△ 51	4	26	70	△ 66	△ 15	3	32	65	△ 62	4
資本金	5千万円未満	△ 45	4	30	66	△ 62	△ 17	3	35	62	△ 59	3
	5千万以上～1億円未満	△ 33	4	35	61	△ 57	△ 24	3	39	58	△ 55	2
	1億円以上	△ 17	11	35	54	△ 43	△ 26	5	44	51	△ 46	△ 3
地域	道南	△ 55	2	36	62	△ 60	△ 5	5	41	54	△ 49	11
	道央	△ 31	7	29	64	△ 57	△ 26	3	41	56	△ 53	4
	札幌市を除く	△ 45	7	27	66	△ 59	△ 14	3	41	56	△ 53	6
	札幌市	△ 18	7	31	62	△ 55	△ 37	3	41	56	△ 53	2
	道北	△ 37	2	38	60	△ 58	△ 21	4	30	66	△ 62	△ 4
	オホーツク	△ 42	7	37	56	△ 49	△ 7	1	41	58	△ 57	△ 8
	十勝	△ 48	6	26	68	△ 62	△ 14	6	24	70	△ 64	△ 2
	釧路・根室	△ 41	2	30	68	△ 66	△ 25	3	36	61	△ 58	8

（４）　資金繰り

今期の資金繰りＢＳＩは △ 33　（前期から 11 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道南でマイナス幅が縮小、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室地域でマイナス幅が拡大

来期の資金繰りＢＳＩは △ 34（今期から１ポイント下降）

図1-(4)　資金繰り

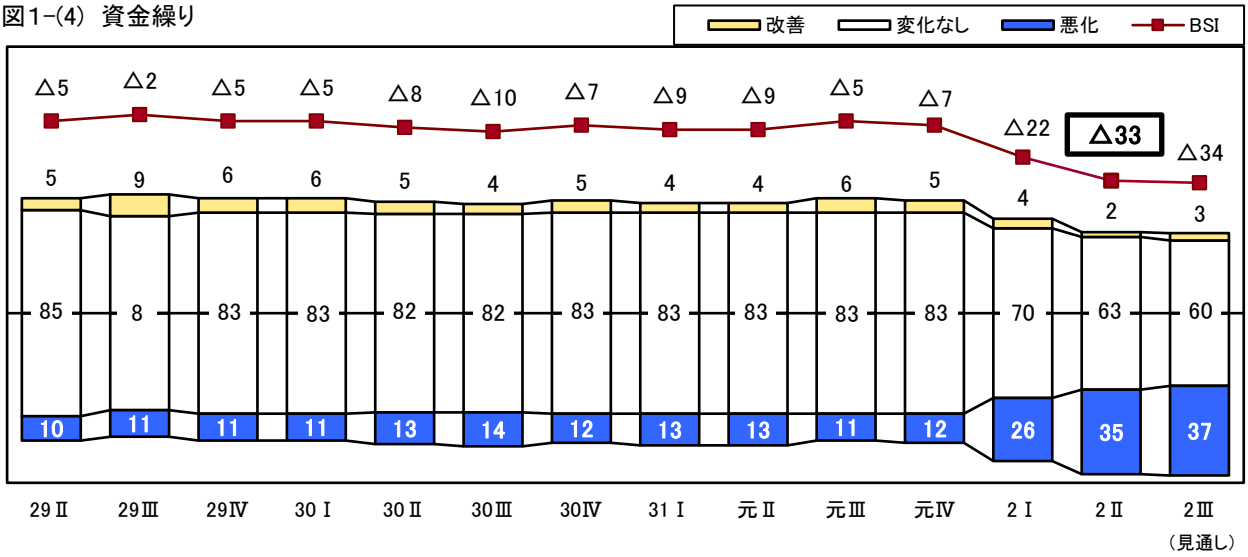


表1-(4)　資金繰り（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総　計		△ 22	2	63	35	△ 33	△ 11	3	60	37	△ 34	△ 1
	札幌市を除く	△ 26	2	62	36	△ 34	△ 8	3	58	39	△ 36	△ 2
	札幌市	△ 11	2	68	30	△ 28	△ 17	3	64	33	△ 30	△ 2
業種	建設業	△ 1	3	86	11	△ 8	△ 7	4	82	14	△ 10	△ 2
	製造業	△ 20	1	71	28	△ 27	△ 7	4	65	31	△ 27	0
	卸売･小売業	△ 22	2	63	35	△ 33	△ 11	4	57	39	△ 35	△ 2
	運輸業	△ 19	4	57	39	△ 35	△ 16	1	57	42	△ 41	△ 6
	サービス業	△ 36	3	46	51	△ 48	△ 12	2	47	51	△ 49	△ 1
資本金	5千万円未満	△ 27	2	58	40	△ 38	△ 11	3	56	41	△ 38	0
	5千万以上～1億円未満	△ 17	4	67	29	△ 25	△ 8	3	64	33	△ 30	△ 5
	1億円以上	△ 8	1	76	23	△ 22	△ 14	2	72	26	△ 24	△ 2
地域	道南	△ 40	1	60	39	△ 38	2	5	54	41	△ 36	2
	道央	△ 17	2	64	34	△ 32	△ 15	2	64	34	△ 32	0
	札幌市を除く	△ 24	2	60	38	△ 36	△ 12	1	63	36	△ 35	1
	札幌市	△ 11	2	68	30	△ 28	△ 17	3	64	33	△ 30	△ 2
	道北	△ 14	4	66	30	△ 26	△ 12	2	61	37	△ 35	△ 9
	オホーツク	△ 28	3	61	36	△ 33	△ 5	4	58	38	△ 34	△ 1
	十勝	△ 31	2	63	35	△ 33	△ 2	2	57	41	△ 39	△ 6
	釧路・根室	△ 16	5	54	41	△ 36	△ 20	6	52	42	△ 36	0

２　雇用状況

（１）　雇用者総数

今期の雇用者総数ＢＳＩは △ 5（前期から３ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業でプラス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業でマイナス幅が縮小、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道央がプラスに転換、道北、十勝でマイナス幅が縮小、釧路・根室がマイナスに転換、道南、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数ＢＳＩは △ 7 （今期から２ポイント下降）

図2－(1) 雇用者総数

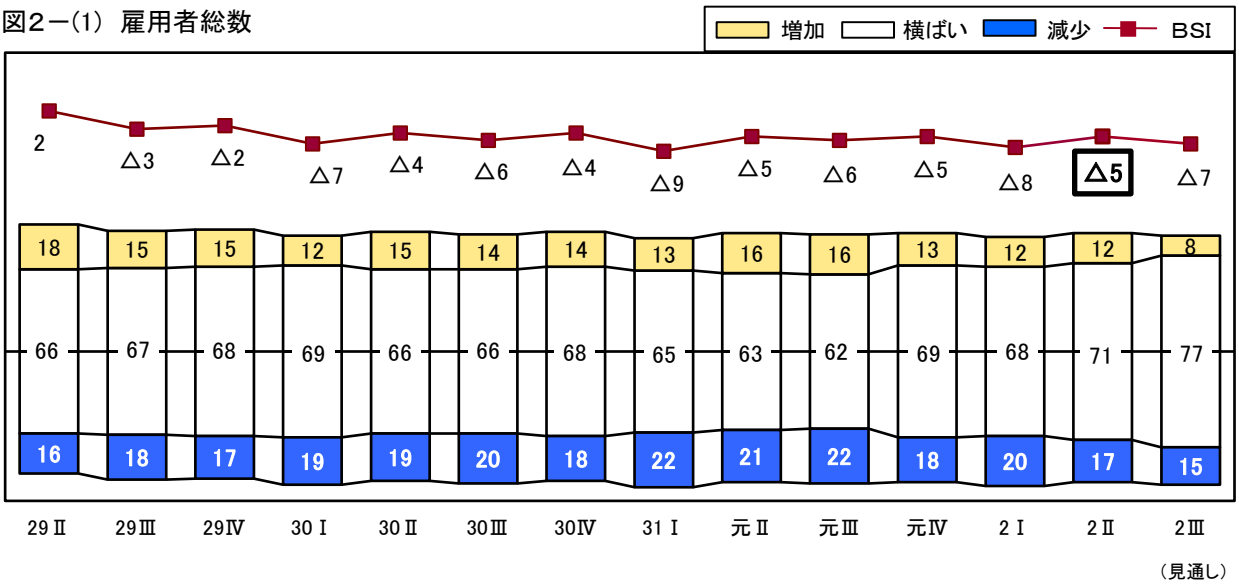


表2-(1) 雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 8	12	71	17	△ 5	3	8	77	15	△ 7	△ 2
	札幌市を除く	△ 12	10	72	18	△ 8	4	6	79	15	△ 9	△ 1
	札幌市	5	17	68	15	2	△ 3	13	73	14	△ 1	△ 3
業種	建設業	7	24	69	7	17	10	17	76	7	10	△ 7
	製造業	△ 5	15	68	17	△ 2	3	9	74	17	△ 8	△ 6
	卸売･小売業	△ 13	3	84	13	△ 10	3	4	86	10	△ 6	4
	運輸業	△ 16	7	75	18	△ 11	5	6	79	15	△ 9	2
	サービス業	△ 11	11	64	25	△ 14	△ 3	5	75	20	△ 15	△ 1
資本金	5千万円未満	△ 12	8	74	18	△ 10	2	5	81	14	△ 9	1
	5千万以上～1億円未満	△ 4	18	64	18	0	4	13	74	13	0	0
	1億円以上	0	21	66	13	8	8	12	70	18	△ 6	△ 14
地域	道南	△ 6	10	73	17	△ 7	△ 1	2	83	15	△ 13	△ 6
	道央	△ 2	14	73	13	1	3	9	79	12	△ 3	△ 4
	札幌市を除く	△ 11	11	78	11	0	11	5	84	11	△ 6	△ 6
	札幌市	5	17	68	15	2	△ 3	13	73	14	△ 1	△ 3
	道北	△ 30	6	69	25	△ 19	11	5	76	19	△ 14	5
	オホーツク	△ 9	8	69	23	△ 15	△ 6	10	72	18	△ 8	7
	十勝	△ 14	13	71	16	△ 3	11	12	70	18	△ 6	△ 3
	釧路・根室	2	12	71	17	△ 5	△ 7	8	81	11	△ 3	2

（２）　雇用者の不足感　（「不足」－「過剰」）

今期の雇用者の不足感ＢＳＩは 21（前期から 19 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でプラス幅が縮小
・地域別にみると、すべての地域でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感ＢＳＩは 23（今期から 2 ポイント上昇）

図2－(2) 雇用者の不足感

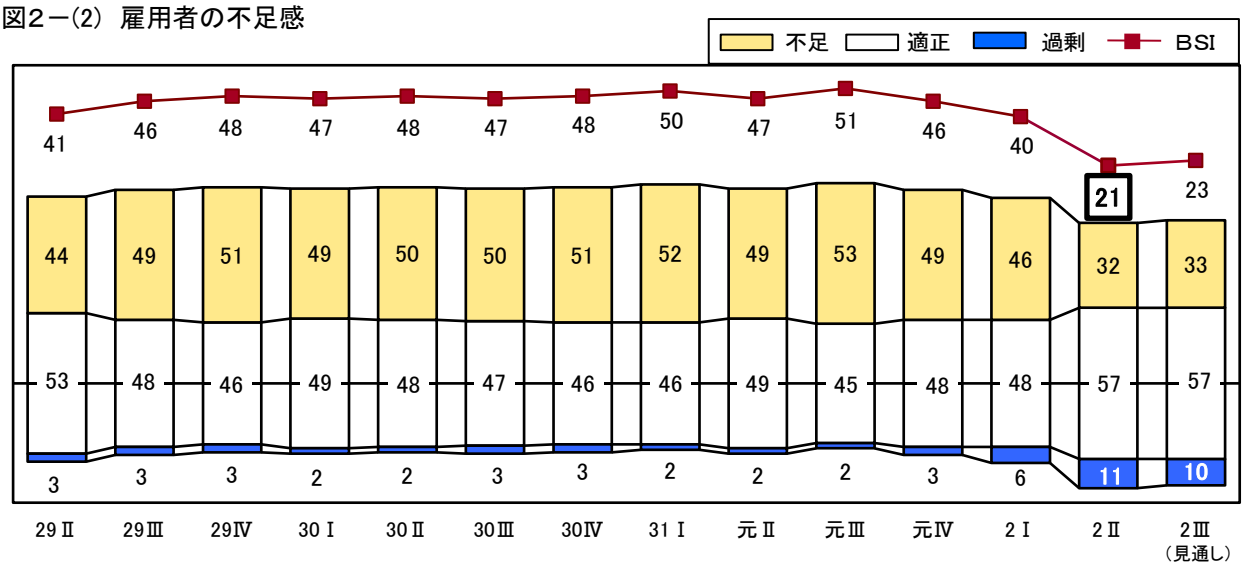


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総　計		40	32	57	11	21	△ 19	33	57	10	23	2
	札幌市を除く	42	31	59	10	21	△ 21	32	60	8	24	3
	札幌市	36	33	50	17	16	△ 20	35	50	15	20	4
業種	建設業	58	54	43	3	51	△ 7	58	39	3	55	4
	製造業	42	32	61	7	25	△ 17	30	65	5	25	0
	卸売･小売業	27	23	63	14	9	△ 18	22	67	11	11	2
	運輸業	62	39	53	8	31	△ 31	41	52	7	34	3
	サービス業	28	22	59	19	3	△ 25	23	60	17	6	3
資本金	5千万円未満	37	31	58	11	20	△ 17	32	59	9	23	3
	5千万以上～1億円未満	41	34	52	14	20	△ 21	35	53	12	23	3
	1億円以上	51	33	58	9	24	△ 27	35	54	11	24	0
地域	道南	32	24	67	9	15	△ 17	23	68	9	14	△ 1
	道央	38	29	56	15	14	△ 24	31	55	14	17	3
	札幌市を除く	40	25	63	12	13	△ 27	28	60	12	16	3
	札幌市	36	33	50	17	16	△ 20	35	50	15	20	4
	道北	55	45	49	6	39	△ 16	45	49	6	39	0
	オホーツク	40	39	50	11	28	△ 12	38	56	6	32	4
	十勝	36	28	60	12	16	△ 20	33	58	9	24	8
	釧路･根室	44	30	61	9	21	△ 23	29	65	6	23	2

（３）　残業時間

今期の残業時間ＢＳＩは △ 45（前期から 13 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大

来期の残業時間ＢＳＩは △ 37（今期から 8 ポイント上昇）

図2-(3) 残業時間

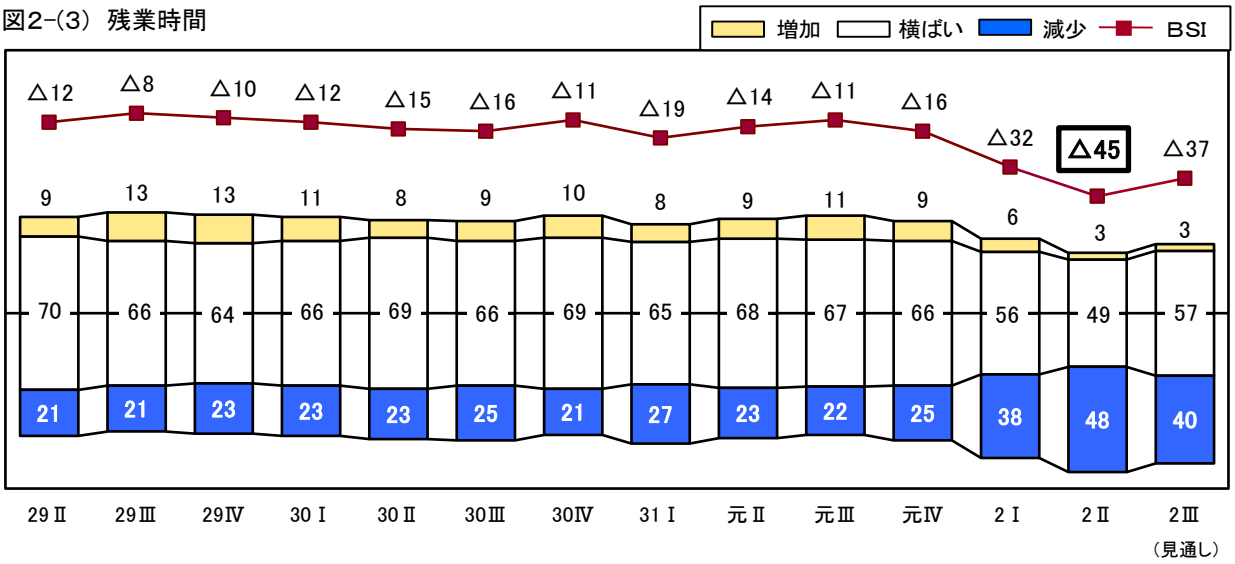


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 32	3	49	48	△ 45	△ 13	3	57	40	△ 37	8
	札幌市を除く	△ 34	3	52	45	△ 42	△ 8	3	57	40	△ 37	5
	札幌市	△ 25	4	40	56	△ 52	△ 27	5	57	38	△ 33	19
業種	建設業	△ 24	2	62	36	△ 34	△ 10	3	70	27	△ 24	10
	製造業	△ 23	7	48	45	△ 38	△ 15	9	55	36	△ 27	11
	卸売･小売業	△ 36	2	52	46	△ 44	△ 8	2	59	39	△ 37	7
	運輸業	△ 27	4	49	47	△ 43	△ 16	3	54	43	△ 40	3
	サービス業	△ 42	1	42	57	△ 56	△ 14	2	50	48	△ 46	10
資本金	5千万円未満	△ 35	3	51	46	△ 43	△ 8	3	58	39	△ 36	7
	5千万以上～1億円未満	△ 31	2	48	50	△ 48	△ 17	2	58	40	△ 38	10
	1億円以上	△ 20	5	42	53	△ 48	△ 28	7	52	41	△ 34	14
地域	道南	△ 39	0	49	51	△ 51	△ 12	3	49	48	△ 45	6
	道央	△ 27	4	45	51	△ 47	△ 20	4	57	39	△ 35	12
	札幌市を除く	△ 33	2	53	45	△ 43	△ 10	3	57	40	△ 37	6
	札幌市	△ 25	4	40	56	△ 52	△ 27	5	57	38	△ 33	19
	道北	△ 34	6	45	49	△ 43	△ 9	6	52	42	△ 36	7
	オホーツク	△ 38	3	53	44	△ 41	△ 3	1	60	39	△ 38	3
	十勝	△ 37	3	56	41	△ 38	△ 1	1	60	39	△ 38	0
	釧路･根室	△ 27	2	59	39	△ 37	△ 10	2	65	33	△ 31	6

（４）　１人当たり賃金

今期の１人当たり賃金ＢＳＩは １（前期から 20 ポイント下降）

・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業でプラス幅が縮小、運輸業、サービス業がマイナスに転換
・地域別に見ると、道北、オホーツク、十勝でプラス幅が縮小、道南、道央、釧路・根室がマイナスに転換

来期の１人当たり賃金ＢＳＩは △2（今期から 3 ポイント下降）

図2-(4) 1人当たり賃金

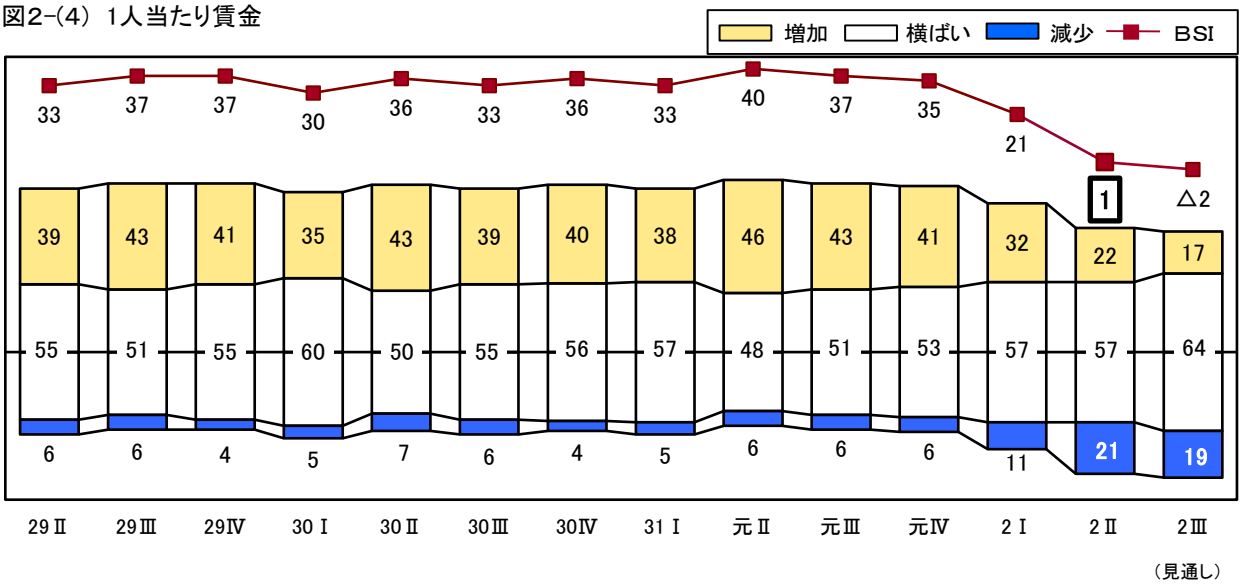


表2-(4) １人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		21	22	57	21	1	△ 20	17	64	19	△ 2	△ 3
	札幌市を除く	19	23	56	21	2	△ 17	17	64	19	△ 2	△ 4
	札幌市	28	21	59	20	1	△ 27	16	63	21	△ 5	△ 6
業種	建設業	43	42	50	8	34	△ 9	32	61	7	25	△ 9
	製造業	29	23	61	16	7	△ 22	16	68	16	0	△ 7
	卸売･小売業	25	24	64	12	12	△ 13	25	64	11	14	2
	運輸業	8	18	49	33	△ 15	△ 23	9	58	33	△ 24	△ 9
	サービス業	8	13	57	30	△ 17	△ 25	9	64	27	△ 18	△ 1
資本金	5千万円未満	14	20	58	22	△ 2	△ 16	15	65	20	△ 5	△ 3
	5千万以上～1億円未満	31	27	52	21	6	△ 25	22	59	19	3	△ 3
	1億円以上	38	28	55	17	11	△ 27	19	65	16	3	△ 8
地域	道南	17	23	52	25	△ 2	△ 19	17	60	23	△ 6	△ 4
	道央	22	20	57	23	△ 3	△ 25	13	66	21	△ 8	△ 5
	札幌市を除く	15	19	56	25	△ 6	△ 21	11	68	21	△ 10	△ 4
	札幌市	28	21	59	20	1	△ 27	16	63	21	△ 5	△ 6
	道北	25	26	54	20	6	△ 19	21	60	19	2	△ 4
	オホーツク	19	33	49	18	15	△ 4	25	62	13	12	△ 3
	十勝	9	22	59	19	3	△ 6	16	63	21	△ 5	△ 8
	釧路･根室	23	14	71	15	△ 1	△ 24	17	68	15	2	3

3　在庫、価格水準

（1）　製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「過大」が拡大、「不足」が横ばい、「適正」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小
・製品価格は、前期と比べ、「下降」が拡大、「上昇」「横ばい」が縮小

来期の見通し

・製品在庫水準は、全て横ばい
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小
・製品価格は、「下降」「横ばい」が拡大、「上昇」が縮小

図3－(1)　製品在庫水準

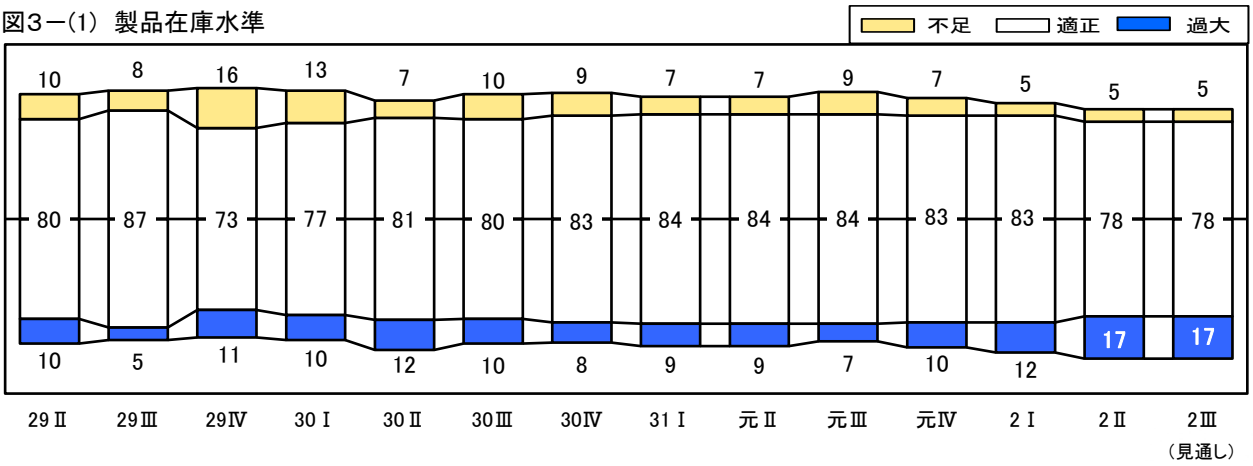


図3－(2)　仕入価格（原材料）

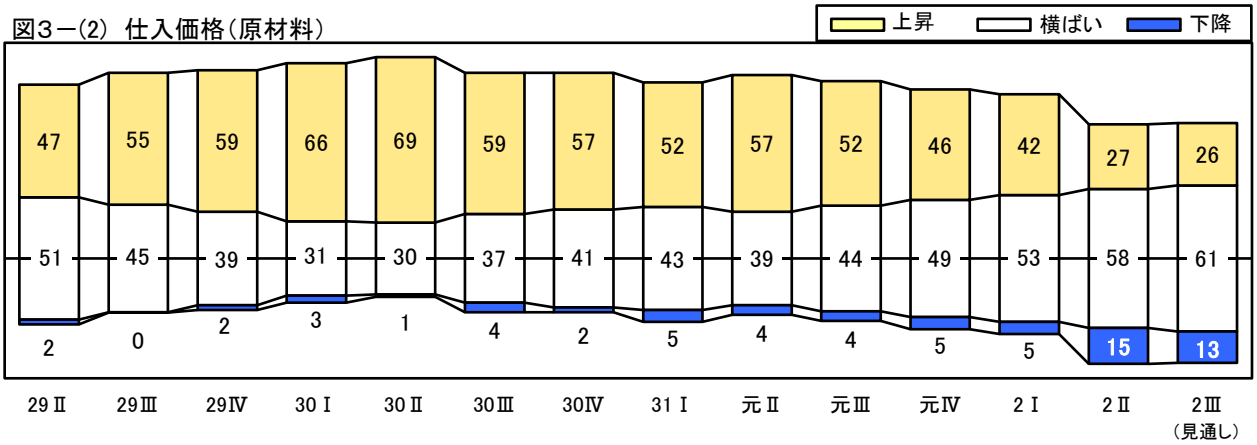
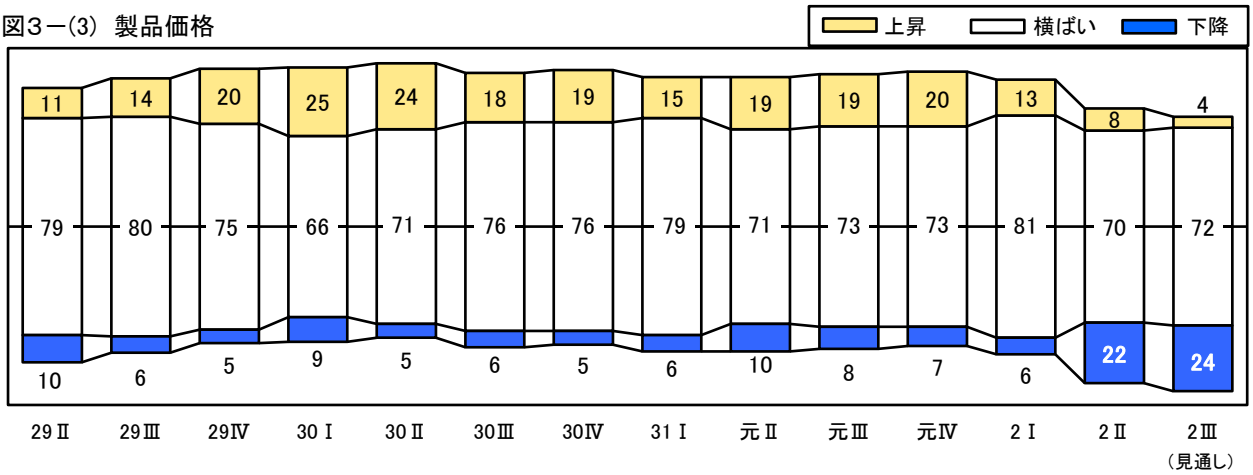


図3－(3)　製品価格



（２）　卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「過大」が拡大、「不足」が横ばい、「適正」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「下降」が拡大、「上昇」「横ばい」が縮小
・商品価格は、前期と比べ、「下降」が拡大、「上昇」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「不足」が横ばい、「過大」が縮小
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小
・商品価格は、「上昇」「横ばい」が拡大、「下降」が縮小

図３－(4)　商品在庫水準

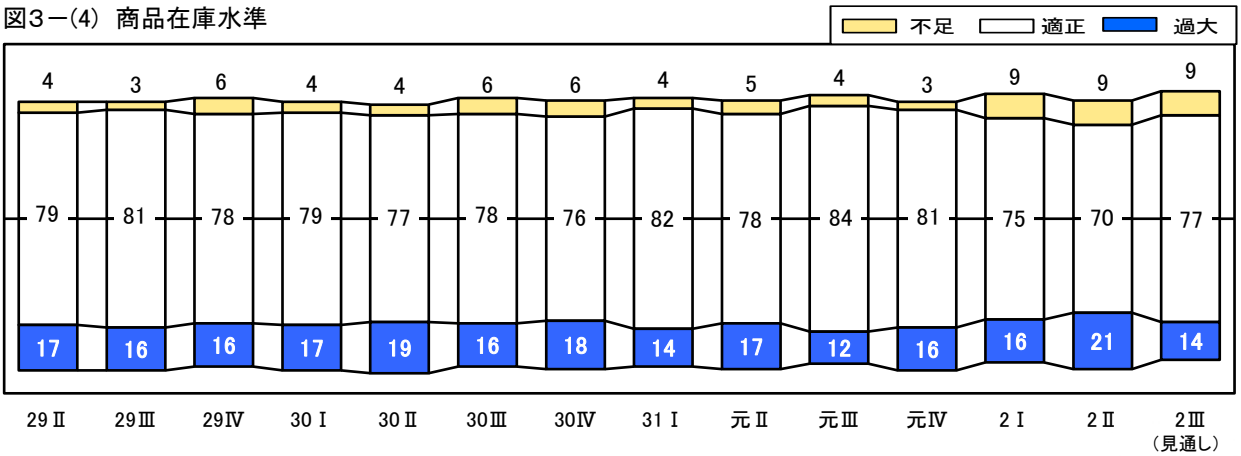


図３－(5)　仕入価格（商品）

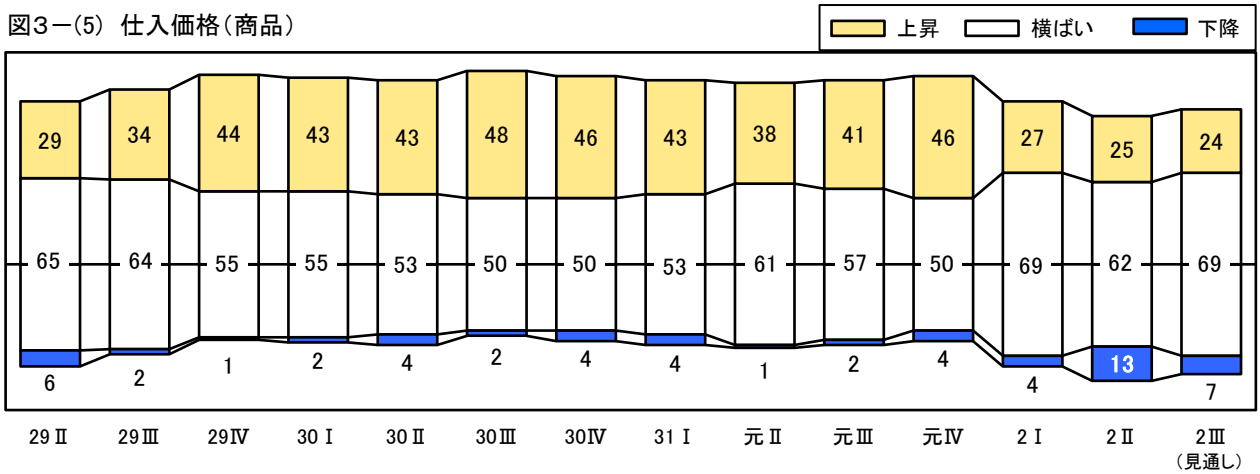
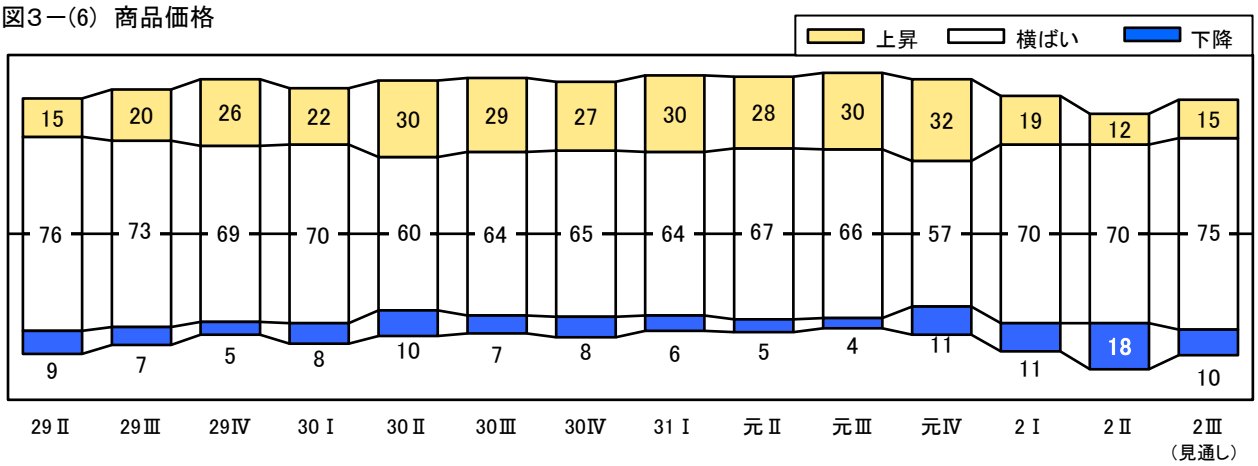


図３－(6)　商品価格



4　設備投資の状況

今期の実績

・「設備投資をした」と回答した企業は 27%で、前期から 4 ポイント下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が 72%、「生産・販売能力拡大」が 27%、「合理化・省力化」が 16%（複数回答）

来期の見通し

・「設備投資をする」と回答した企業は 24%で、今期から 3 ポイント下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が 71%、「生産・販売能力拡大」が 27%、「合理化・省力化」が 23%（複数回答）

図４－(1) 設備投資の状況

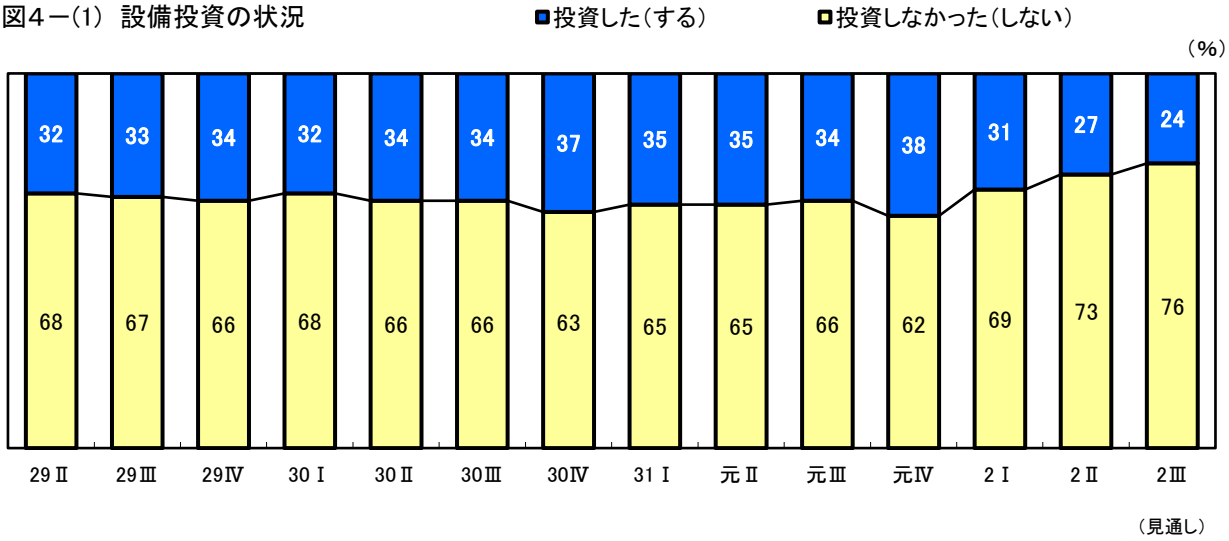


図４－(2) 設備投資の目的(複数回答)

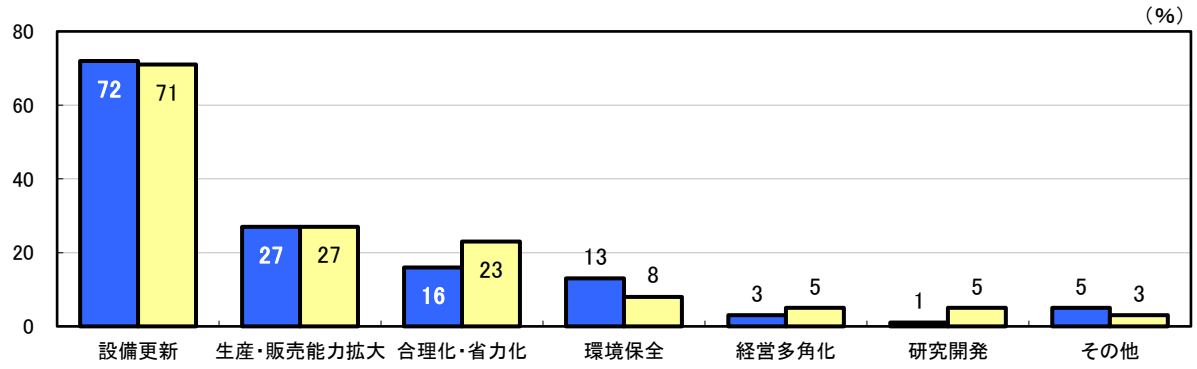


表４－(1) 設備投資の状況（R2年4-6実績）（業種・資本金・地域別）　（%）

区分		R2年 1-3月 設備投資した	R2年 4-6月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答）						
				生産・販売能力拡大	合理化省力化	経営多角化	研究開発	環境保全	設備更新	その他
総計		31	27	27	16	3	1	13	72	5
	札幌市を除く	28	23	29	19	4	1	14	67	4
	札幌市	44	41	22	9	2	0	11	82	5
業種	建設業	31	25	32	20	4	0	0	68	8
	製造業	40	27	47	34	3	3	16	75	0
	卸売･小売業	23	27	24	6	3	0	21	70	3
	運輸業	42	33	9	6	0	0	6	94	0
	サービス業	26	25	24	16	6	0	18	58	10
資本金	5千万円未満	24	22	28	15	5	1	16	67	3
	5千万以上～1億円未満	38	28	31	25	3	0	6	59	6
	1億円以上	57	49	20	12	0	0	12	88	6
地域	道南	19	15	31	31	0	0	15	62	8
	道央	37	34	26	11	2	0	15	78	6
	札幌市を除く	29	27	32	15	3	0	21	71	6
	札幌市	44	41	22	9	2	0	11	82	5
	道北	33	21	17	22	0	0	17	78	0
	オホーツク	21	26	37	21	11	0	0	58	5
	十勝	32	26	33	17	0	6	17	61	6
	釧路・根室	30	24	19	19	13	0	13	69	0

表４－(2) 設備投資の状況（R2年7-9月見通し）（業種・資本金・地域別）　（%）

区分		R2年7-9月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答）						
			生産・販売能力拡大	合理化省力化	経営多角化	研究開発	環境保全	設備更新	その他
総計		24	27	23	5	5	8	71	3
	札幌市を除く	20	31	22	7	5	9	67	4
	札幌市	36	19	25	2	4	6	79	2
業種	建設業	23	26	30	0	4	4	65	9
	製造業	31	42	39	8	11	3	67	0
	卸売･小売業	26	16	3	9	0	19	78	3
	運輸業	31	24	7	0	0	3	83	3
	サービス業	16	27	33	7	7	10	60	3
資本金	5千万円未満	18	29	23	8	7	9	61	4
	5千万以上～1億円未満	24	26	22	4	0	7	67	0
	1億円以上	48	25	23	2	4	6	88	4
地域	道南	12	30	10	0	10	0	70	10
	道央	31	28	27	3	5	9	76	3
	札幌市を除く	25	43	30	3	7	13	70	3
	札幌市	36	19	25	2	4	6	79	2
	道北	20	25	31	6	6	0	63	6
	オホーツク	23	38	13	19	0	6	56	0
	十勝	25	35	12	6	6	12	65	6
	釧路・根室	21	0	23	8	0	15	77	0

５　地域別にみる各産業の動向

（１）　道南

今期の業況感ＢＳＩは △ 56 （前期から１ポイント下降）

主な上昇業種･･･木材・木製品製造業（▲100→▲50）、パルプ・紙・紙加工品製造業（▲100→0）、
道路貨物運送業（▲100→▲20）
船舶製造・修理業、船用機関製造業などの運送用機械器具製造業（▲50→0）、
主な下降業種･･･電子部品・デバイス・電子回路製造業（100→0）、その他の製造業（0→▲100）
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲25→▲75）、水運業（0→▲100）、
織物・衣服・身の回り品小売業（▲50→▲100）、道路旅客運送業（▲50→▲100）
産業廃棄物処理業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 50 （今期から６ポイント上昇）

図５－(1) 地域別BSIの推移【道南】

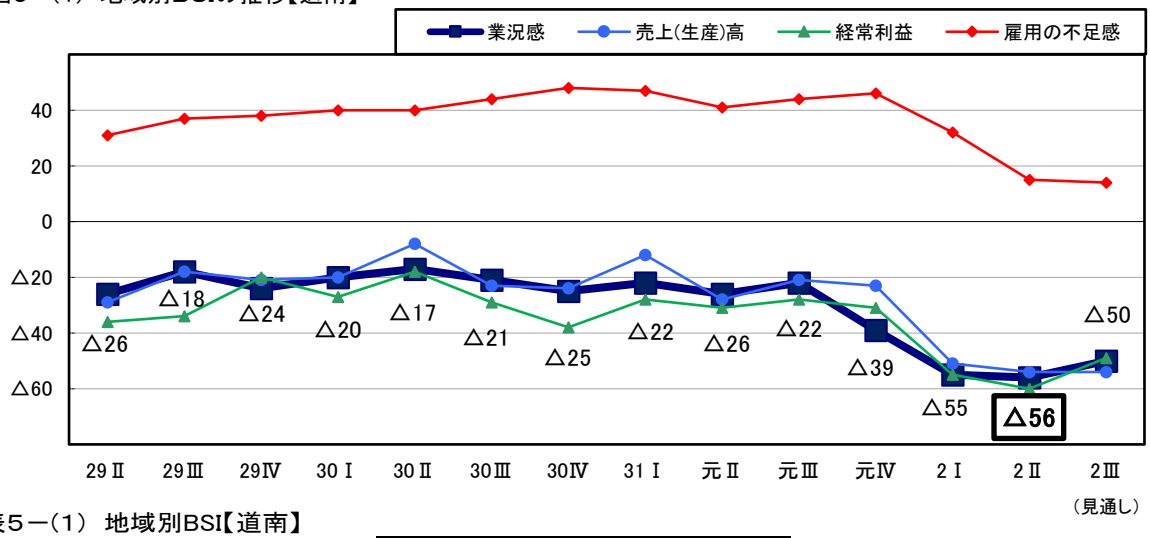


表５－(1) 地域別BSI【道南】

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 55	2	40	58	△ 56	△ 1	5	40	55	△ 50	6
	建設業	△ 15	7	86	7	0	15	7	79	14	△ 7	△ 7
	製造業	△ 50	6	41	53	△ 47	3	17	16	67	△ 50	△ 3
	卸売･小売業	△ 61	0	19	81	△ 81	△ 20	0	40	60	△ 60	21
	運輸業	△ 44	0	46	54	△ 54	△ 10	0	50	50	△ 50	4
	サービス業	△ 80	0	20	80	△ 80	0	0	32	68	△ 68	12
売上（生産）高	全産業	△ 51	7	32	61	△ 54	△ 3	6	34	60	△ 54	0
	建設業	△ 22	20	60	20	0	22	7	60	33	△ 26	△ 26
	製造業	△ 44	11	33	56	△ 45	△ 1	17	22	61	△ 44	1
	卸売･小売業	△ 50	0	19	81	△ 81	△ 31	0	31	69	△ 69	12
	運輸業	△ 30	8	38	54	△ 46	△ 16	8	46	46	△ 38	8
	サービス業	△ 80	0	20	80	△ 80	0	0	24	76	△ 76	4
経常利益	全産業	△ 55	2	36	62	△ 60	△ 5	5	41	54	△ 49	11
	建設業	△ 36	7	60	33	△ 26	10	7	60	33	△ 26	0
	製造業	△ 50	6	38	56	△ 50	0	17	39	44	△ 27	23
	卸売･小売業	△ 50	0	25	75	△ 75	△ 25	0	44	56	△ 56	19
	運輸業	△ 30	0	38	62	△ 62	△ 32	0	54	46	△ 46	16
	サービス業	△ 80	0	24	76	△ 76	4	0	24	76	△ 76	0
雇用者の不足感	全産業	32	24	67	9	15	△ 17	23	68	9	14	△ 1
	建設業	71	67	33	0	67	△ 4	73	27	0	73	6
	製造業	25	33	67	0	33	8	28	72	0	28	△ 5
	卸売･小売業	33	0	94	6	△ 6	△ 39	0	94	6	△ 6	0
	運輸業	50	23	69	8	15	△ 35	15	77	8	7	△ 8
	サービス業	4	8	67	25	△ 17	△ 21	8	67	25	△ 17	0

※「売上（生産）高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。（以下、同じ。）

（２）　道央

今期の業況感ＢＳＩは △ 50（前期から 18 ポイント下降）

主な上昇業種･･･窯業・土石製品製造業（▲100→0）
汎用機械器具製造業（0→50）、放送業（▲50→0）

主な下降業種･･･塗装工事業等の職別工事業（0→▲100）、家具・装備品製造業（0→▲100）
鉄鋼業（0→▲100）、繊維・衣類等卸売業（▲33→▲100）、
機械器具卸売業（0→▲67）、航空運輸業（0→▲100）、情報サービス業（30→▲25）

来期の業況感ＢＳＩは △ 53　（今期から 3 ポイント下降）

図５－(2) 地域別BSIの推移【道央】

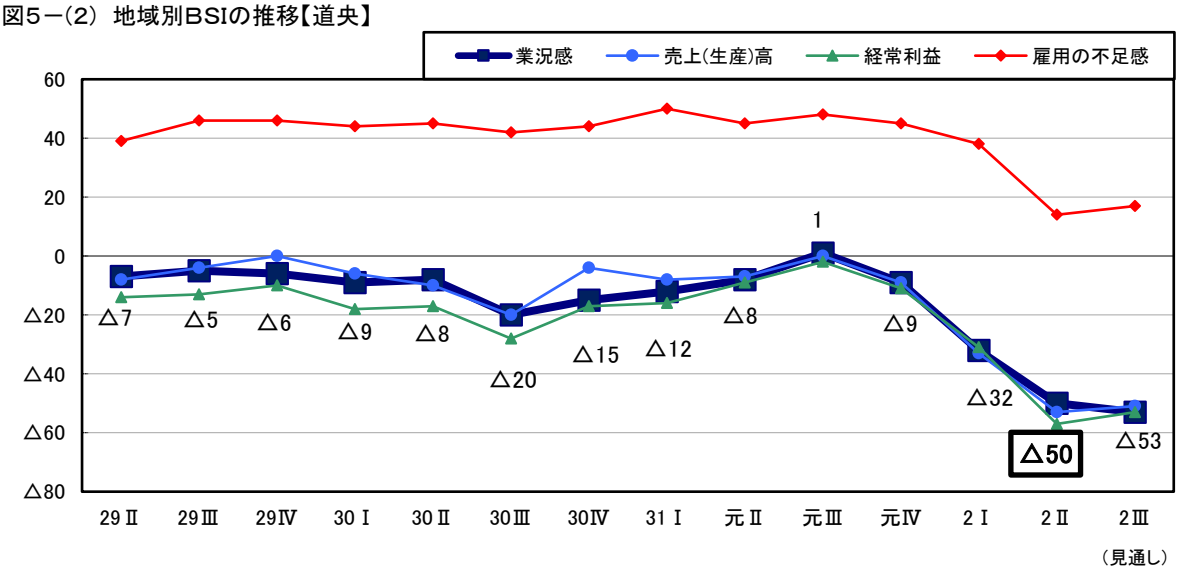


表５－(2) 地域別BSI【道央】

区　分		R2年 1-3月 実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 32	7	36	57	△ 50	△ 18	4	39	57	△ 53	△ 3
	建設業	0	6	73	21	△ 15	△ 15	0	58	42	△ 42	△ 27
	製造業	△ 33	7	43	50	△ 43	△ 10	7	41	52	△ 45	△ 2
	卸売･小売業	△ 47	9	21	70	△ 61	△ 14	4	26	70	△ 66	△ 5
	運輸業	△ 27	14	26	60	△ 46	△ 19	3	36	61	△ 58	△ 12
	サービス業	△ 35	3	31	66	△ 63	△ 28	3	43	54	△ 51	12
売上（生産）高	全産業	△ 33	9	29	62	△ 53	△ 20	5	39	56	△ 51	2
	建設業	4	9	64	27	△ 18	△ 22	3	58	39	△ 36	△ 18
	製造業	△ 31	9	32	59	△ 50	△ 19	14	31	55	△ 41	9
	卸売･小売業	△ 54	9	19	72	△ 63	△ 9	2	34	64	△ 62	1
	運輸業	△ 27	17	17	66	△ 49	△ 22	3	32	65	△ 62	△ 13
	サービス業	△ 34	4	29	67	△ 63	△ 29	3	43	54	△ 51	12
経常利益	全産業	△ 31	7	29	64	△ 57	△ 26	3	41	56	△ 53	4
	建設業	0	6	46	48	△ 42	△ 42	3	61	36	△ 33	9
	製造業	△ 28	9	32	59	△ 50	△ 22	7	38	55	△ 48	2
	卸売･小売業	△ 43	5	28	67	△ 62	△ 19	2	34	64	△ 62	0
	運輸業	△ 24	14	20	66	△ 52	△ 28	0	29	71	△ 71	△ 19
	サービス業	△ 38	4	26	70	△ 66	△ 28	3	44	53	△ 50	16
雇用者の不足感	全産業	38	29	56	15	14	△ 24	31	55	14	17	3
	建設業	60	58	42	0	58	△ 2	61	39	0	61	3
	製造業	32	25	66	9	16	△ 16	27	64	9	18	2
	卸売･小売業	22	26	55	19	7	△ 15	27	59	14	13	6
	運輸業	64	40	54	6	34	△ 30	47	47	6	41	7
	サービス業	32	19	58	23	△ 4	△ 36	19	57	24	△ 5	△ 1

（２）－①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感ＢＳＩは △ 53（前期から８ポイント下降）

主な上昇業種･･･窯業・土石製品製造業（▲100→0）、汎用機械器具製造業（0→100）
生産用機械器具製造業（▲100→▲50）、倉庫業（0→50）、廃棄物処理業（0→50）
主な下降業種･･･塗装工事業等の職別工事業（0→▲100）、電気工事業等の設備工事業（0→▲50）
鉄鋼業（0→▲100）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲16→▲83）
機械器具卸売業（0→▲100）、

来期の業況感ＢＳＩは △ 52　（今期から１ポイント上昇）

図５－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

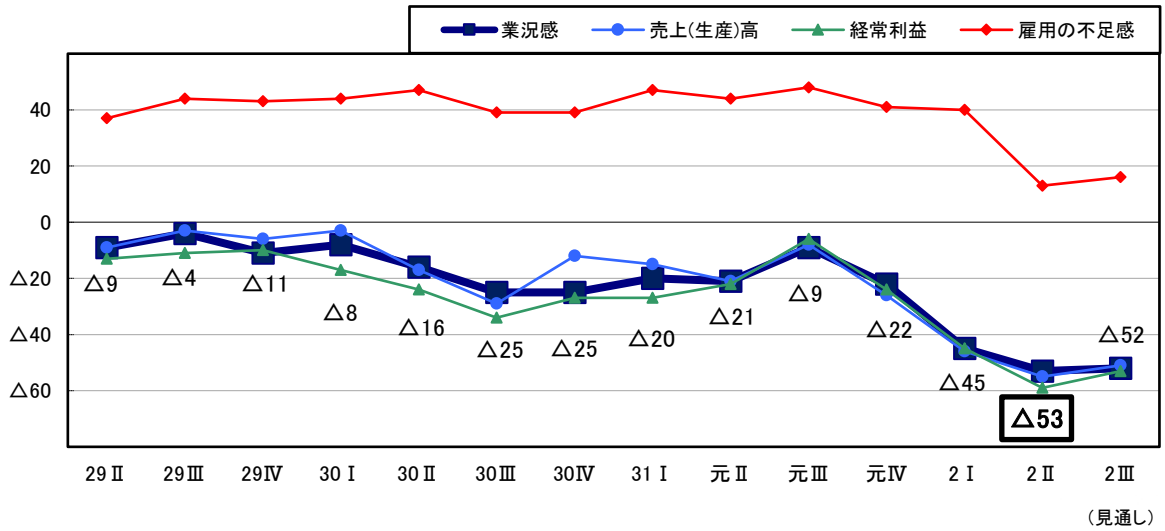


表５－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 45	7	33	60	△ 53	△ 8	5	38	57	△ 52	1
	建設業	△ 29	13	60	27	△ 14	15	0	60	40	△ 40	△ 26
	製造業	△ 37	8	50	42	△ 34	3	12	38	50	△ 38	△ 4
	卸売･小売業	△ 57	0	12	88	△ 88	△ 31	4	21	75	△ 71	17
	運輸業	△ 35	13	31	56	△ 43	△ 8	0	53	47	△ 47	△ 4
	サービス業	△ 54	8	24	68	△ 60	△ 6	5	35	60	△ 55	5
売上（生産）高	全産業	△ 46	9	27	64	△ 55	△ 9	6	37	57	△ 51	4
	建設業	△ 15	13	54	33	△ 20	△ 5	0	53	47	△ 47	△ 27
	製造業	△ 37	11	39	50	△ 39	△ 2	18	32	50	△ 32	7
	卸売･小売業	△ 63	0	12	88	△ 88	△ 25	0	33	67	△ 67	21
	運輸業	△ 41	19	18	63	△ 44	△ 3	0	44	56	△ 56	△ 12
	サービス業	△ 58	8	20	72	△ 64	△ 6	5	36	59	△ 54	10
経常利益	全産業	△ 45	7	27	66	△ 59	△ 14	3	41	56	△ 53	6
	建設業	△ 22	0	47	53	△ 53	△ 31	0	60	40	△ 40	13
	製造業	△ 34	11	39	50	△ 39	△ 5	11	39	50	△ 39	0
	卸売･小売業	△ 54	0	20	80	△ 80	△ 26	0	29	71	△ 71	9
	運輸業	△ 41	19	18	63	△ 44	△ 3	0	44	56	△ 56	△ 12
	サービス業	△ 61	5	21	74	△ 69	△ 8	3	41	56	△ 53	16
雇用者の不足感	全産業	40	25	63	12	13	△ 27	28	60	12	16	3
	建設業	50	60	40	0	60	10	60	40	0	60	0
	製造業	34	25	71	4	21	△ 13	29	67	4	25	4
	卸売･小売業	27	8	68	24	△ 16	△ 43	8	71	21	△ 13	3
	運輸業	65	44	56	0	44	△ 21	56	44	0	56	12
	サービス業	35	14	67	19	△ 5	△ 40	14	64	22	△ 8	△ 3

（２）－ ②　道央（札幌市）

今期の業況感ＢＳＩは　△49　（前期から 28 ポイント下降）

主な上昇業種･･･飲食料品卸売業（▲33→34）、
百貨店、総合スーパー等の各種商品小売業（▲50→0）、
燃料小売業等のその他の小売業（▲75→0）

主な下降業種･･･生産用機械器具製造業（▲33→▲100）、繊維・衣類等卸売業（▲33→▲100）
機械器具卸売業（0→▲60）、航空運輸業（0→▲100）、情報サービス業（30→▲29）
物品賃貸業（0→▲80）、測量業等の技術サービス業（0→▲63）
廃棄物処理業（0→▲100）、自動車整備業（0→▲100）、機械等修理業（33→▲50）
職業紹介・労働者派遣業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 54（今期から５ポイント下降）

図５－(2)－②　地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

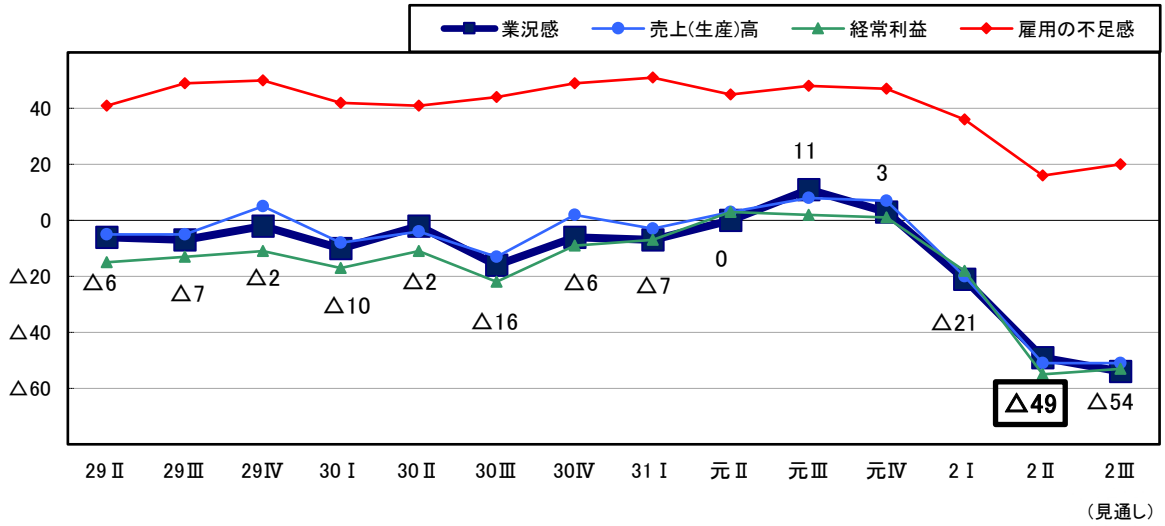


表５－(2)－②　地域別BSI【道央（札幌市）】

区　分		R2年 1-3月 実績BSI	R2年4-6月実績					R2年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 21	7	37	56	△ 49	△ 28	2	42	56	△ 54	△ 5
	建設業	25	0	83	17	△ 17	△ 42	0	56	44	△ 44	△ 27
	製造業	△ 27	6	31	63	△ 57	△ 30	0	44	56	△ 56	1
	卸売･小売業	△ 41	16	28	56	△ 40	1	3	31	66	△ 63	△ 23
	運輸業	△ 19	16	21	63	△ 47	△ 28	6	22	72	△ 66	△ 19
	サービス業	△ 21	0	36	64	△ 64	△ 43	2	49	49	△ 47	17
売上（生産）高	全産業	△ 20	8	33	59	△ 51	△ 31	4	41	55	△ 51	0
	建設業	18	6	72	22	△ 16	△ 34	6	61	33	△ 27	△ 11
	製造業	△ 20	6	19	75	△ 69	△ 49	6	31	63	△ 57	12
	卸売･小売業	△ 49	16	25	59	△ 43	6	3	34	63	△ 60	△ 17
	運輸業	△ 13	16	16	68	△ 52	△ 39	6	22	72	△ 66	△ 14
	サービス業	△ 18	2	34	64	△ 62	△ 44	2	48	50	△ 48	14
経常利益	全産業	△ 18	7	31	62	△ 55	△ 37	3	41	56	△ 53	2
	建設業	18	11	45	44	△ 33	△ 51	6	61	33	△ 27	6
	製造業	△ 20	6	19	75	△ 69	△ 49	0	37	63	△ 63	6
	卸売･小売業	△ 35	9	35	56	△ 47	△ 12	3	38	59	△ 56	△ 9
	運輸業	△ 6	11	21	68	△ 57	△ 51	0	17	83	△ 83	△ 26
	サービス業	△ 22	4	30	66	△ 62	△ 40	4	46	50	△ 46	16
雇用者の不足感	全産業	36	33	50	17	16	△ 20	35	50	15	20	4
	建設業	69	56	44	0	56	△ 13	61	39	0	61	5
	製造業	26	25	56	19	6	△ 20	25	56	19	6	0
	卸売･小売業	20	41	43	16	25	5	41	50	9	32	7
	運輸業	63	37	52	11	26	△ 37	39	50	11	28	2
	サービス業	31	22	52	26	△ 4	△ 35	23	52	25	△ 2	2

（３）　道北

今期の業況感ＢＳＩは △ 55 （前期から 13 ポイント下降）

主な上昇業種･･･その他の製造業（▲100→0）
主な下降業種･･･汎用機械器具製造業（100→0）、生産用機械器具製造業（0→▲100）
電子部品・デバイス・電子回路製造業（0→▲100）、飲食店（▲25→▲100）
繊維・衣類等卸売業（0→▲100）、飲食料品卸売業（0→▲100）
洗濯・理容・美容・浴場業（33→▲67）

来期の業況感ＢＳＩは △ 57（今期から 2 ポイント下降）

図５－(3) 地域別BSIの推移【道北】

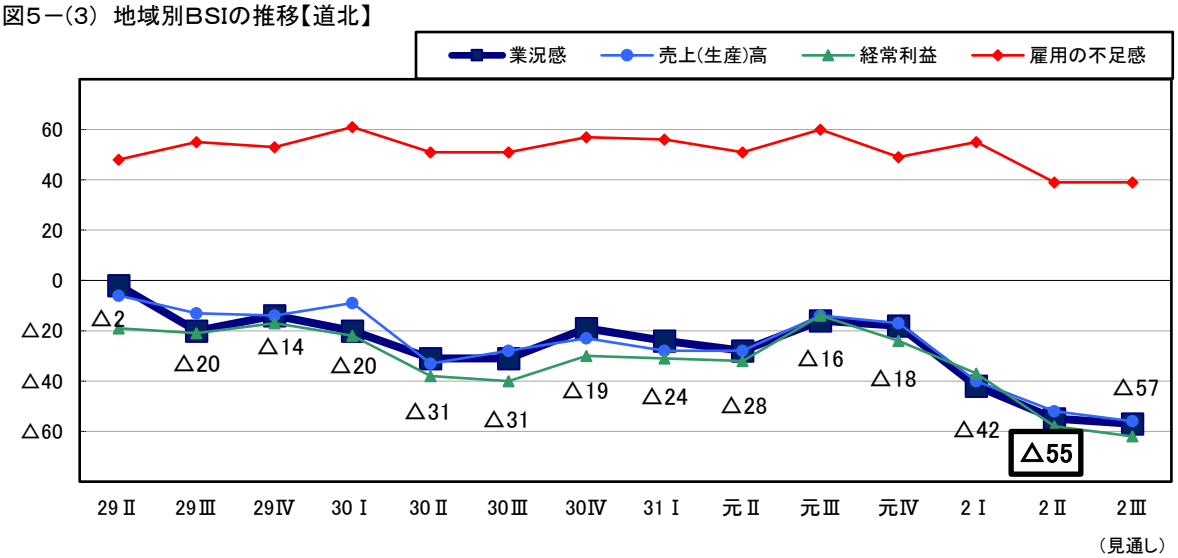


表５－(3) 地域別BSI（道北）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 42	1	43	56	△ 55	△ 13	3	37	60	△ 57	△ 2
	建設業	△ 13	6	65	29	△ 23	△ 10	12	64	24	△ 12	11
	製造業	△ 30	0	47	53	△ 53	△ 23	0	36	64	△ 64	△ 11
	卸売･小売業	△ 69	0	27	73	△ 73	△ 4	0	27	73	△ 73	0
	運輸業	△ 63	0	38	62	△ 62	1	0	38	62	△ 62	0
	サービス業	△ 41	0	36	64	△ 64	△ 23	0	24	76	△ 76	△ 12
売上（生産）高	全産業	△ 40	2	44	54	△ 52	△ 12	2	40	58	△ 56	△ 4
	建設業	△ 25	11	61	28	△ 17	8	6	66	28	△ 22	△ 5
	製造業	△ 25	0	40	60	△ 60	△ 35	0	20	80	△ 80	△ 20
	卸売･小売業	△ 69	0	36	64	△ 64	5	0	27	73	△ 73	△ 9
	運輸業	△ 63	0	46	54	△ 54	9	8	38	54	△ 46	8
	サービス業	△ 30	0	36	64	△ 64	△ 34	0	39	61	△ 61	3
経常利益	全産業	△ 37	2	38	60	△ 58	△ 21	4	30	66	△ 62	△ 4
	建設業	△ 25	6	61	33	△ 27	△ 2	11	45	44	△ 33	△ 6
	製造業	△ 30	0	27	73	△ 73	△ 43	0	20	80	△ 80	△ 7
	卸売･小売業	△ 57	0	27	73	△ 73	△ 16	0	27	73	△ 73	0
	運輸業	△ 50	0	38	62	△ 62	△ 12	0	38	62	△ 62	0
	サービス業	△ 31	4	31	65	△ 61	△ 30	4	23	73	△ 69	△ 8
雇用者の不足感	全産業	55	45	49	6	39	△ 16	45	49	6	39	0
	建設業	57	67	33	0	67	10	72	28	0	72	5
	製造業	75	67	20	13	54	△ 21	53	34	13	40	△ 14
	卸売･小売業	34	18	82	0	18	△ 16	18	82	0	18	0
	運輸業	69	31	54	15	16	△ 53	31	54	15	16	0
	サービス業	42	37	59	4	33	△ 9	41	55	4	37	4

（４）　オホーツク

今期の業況感ＢＳＩは △ 48（前期から２ポイント下降）

主な上昇業種･･･船舶製造・修理業、船用機関製造業等の輸送用機械器具製造業（▲100→0）
じゅう器小売業等のその他の小売業（▲100→▲50）
獣医業等の技術サービス業（▲50→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（0→▲67）、木材・木製品製造業（0→▲100）
楽器製造業等のその他の製造業（0→▲100）
産業用機械器具賃貸業等の物品賃貸業（0→▲100）、飲食店（0→▲100）
洗濯・理容・美容・浴場業（0→▲100）窯業・土石製品製造業（0→▲50）、

来期の業況感ＢＳＩは △ 53 （今期から５ポイント下降）

図５－(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

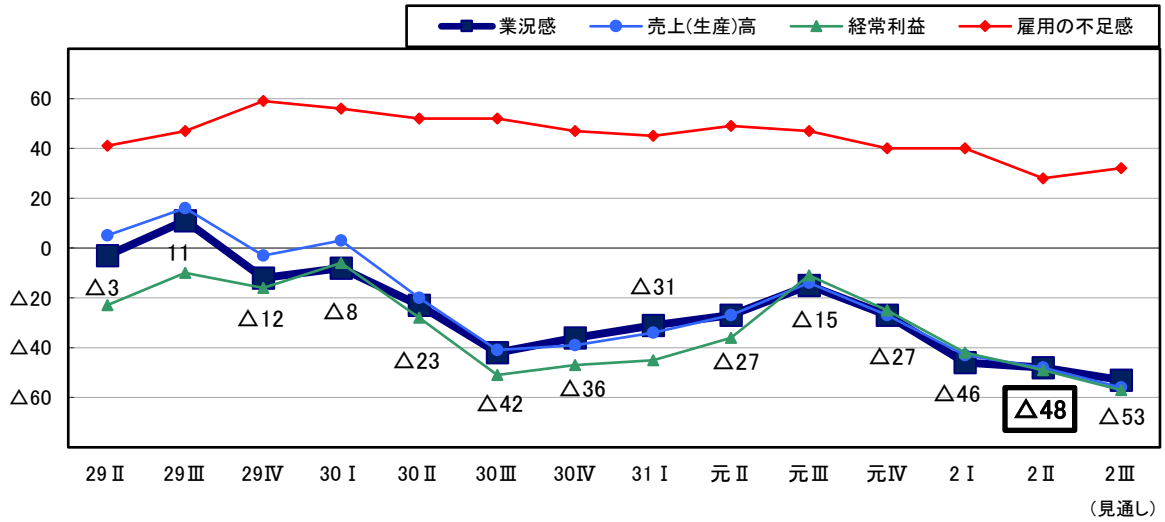


表５－(4) 地域別BSI(オホーツク)

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 46	4	44	52	△ 48	△ 2	1	45	54	△ 53	△ 5
	建設業	△ 31	0	85	15	△ 15	16	0	62	38	△ 38	△ 23
	製造業	△ 17	0	50	50	△ 50	△ 33	0	57	43	△ 43	7
	卸売･小売業	△ 62	7	43	50	△ 43	19	8	38	54	△ 46	△ 3
	運輸業	△ 50	8	38	54	△ 46	4	0	33	67	△ 67	△ 21
	サービス業	△ 65	5	16	79	△ 74	△ 9	0	33	67	△ 67	7
売上（生産）高	全産業	△ 43	7	38	55	△ 48	△ 5	1	42	57	△ 56	△ 8
	建設業	△ 16	8	54	38	△ 30	△ 14	0	69	31	△ 31	△ 1
	製造業	△ 9	0	50	50	△ 50	△ 41	0	50	50	△ 50	0
	卸売･小売業	△ 62	14	43	43	△ 29	33	7	29	64	△ 57	△ 28
	運輸業	△ 59	8	30	62	△ 54	5	0	38	62	△ 62	△ 8
	サービス業	△ 65	5	21	74	△ 69	△ 4	0	28	72	△ 72	△ 3
経常利益	全産業	△ 42	7	37	56	△ 49	△ 7	1	41	58	△ 57	△ 8
	建設業	△ 8	8	54	38	△ 30	△ 22	0	77	23	△ 23	7
	製造業	△ 16	0	36	64	△ 64	△ 48	0	43	57	△ 57	7
	卸売･小売業	△ 46	7	43	50	△ 43	3	7	22	71	△ 64	△ 21
	運輸業	△ 50	8	38	54	△ 46	4	0	38	62	△ 62	△ 16
	サービス業	△ 76	11	21	68	△ 57	19	0	28	72	△ 72	△ 15
雇用者の不足感	全産業	40	39	50	11	28	△ 12	38	56	6	32	4
	建設業	54	62	38	0	62	8	62	38	0	62	0
	製造業	50	21	65	14	7	△ 43	27	60	13	14	7
	卸売･小売業	31	29	64	7	22	△ 9	21	72	7	14	△ 8
	運輸業	64	31	54	15	16	△ 48	31	54	15	16	0
	サービス業	17	50	33	17	33	16	44	50	6	38	5

（５）　十勝

今期の業況感ＢＳＩは △ 62 （前期から 16 ポイント下降）

主な上昇業種･･･倉庫業（0→100）、建築設計業等の技術サービス業（▲50→0）
経営コンサルタント業、純粋持株会社等の専門サービス業（▲100→0）

主な下降業種･･･電気工事業等の設備工事業（100→▲100）、食料品製造業（▲20→▲100）
木材・木製品製造業（▲50→▲100）、パルプ・紙・紙加工品製造業（0→▲100）
ソフトウエア業等の情報サービス業（0→▲50）
産業用機械器具賃貸業等の物品賃貸業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 63 （今期から１ポイント下降）

図５－(5) 地域別BSIの推移【十勝】

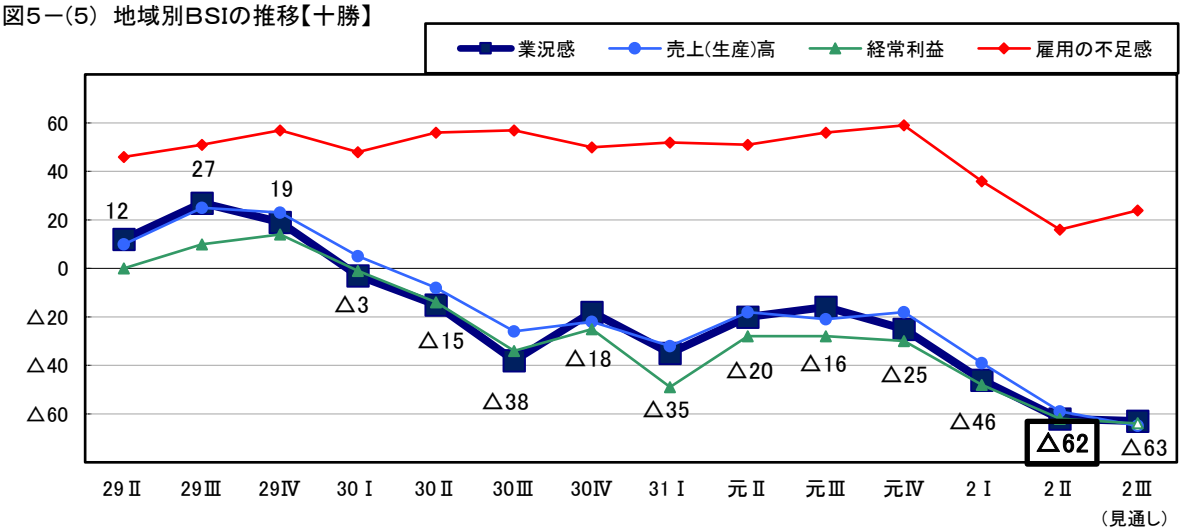


表５－(5) 地域別BSI(十勝)

区 分		R2年 1-3月 実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 46	4	30	66	△ 62	△ 16	5	27	68	△ 63	△ 1
	建設業	△ 9	8	34	58	△ 50	△ 41	25	42	33	△ 8	42
	製造業	△ 29	0	29	71	△ 71	△ 42	0	8	92	△ 92	△ 21
	卸売･小売業	△ 71	0	25	75	△ 75	△ 4	0	25	75	△ 75	0
	運輸業	△ 42	8	38	54	△ 46	△ 4	0	38	62	△ 62	△ 16
	サービス業	△ 65	6	25	69	△ 63	2	0	25	75	△ 75	△ 12
売上（生産）高	全産業	△ 39	6	29	65	△ 59	△ 20	4	27	69	△ 65	△ 6
	建設業	18	8	34	58	△ 50	△ 68	25	42	33	△ 8	42
	製造業	△ 29	0	21	79	△ 79	△ 50	0	8	92	△ 92	△ 13
	卸売･小売業	△ 79	0	31	69	△ 69	10	0	23	77	△ 77	△ 8
	運輸業	△ 42	15	31	54	△ 39	3	0	46	54	△ 54	△ 15
	サービス業	△ 53	6	31	63	△ 57	△ 4	0	19	81	△ 81	△ 24
経常利益	全産業	△ 48	6	26	68	△ 62	△ 14	6	24	70	△ 64	△ 2
	建設業	0	8	34	58	△ 50	△ 50	25	33	42	△ 17	33
	製造業	△ 31	0	14	86	△ 86	△ 55	0	8	92	△ 92	△ 6
	卸売･小売業	△ 79	0	23	77	△ 77	2	0	23	77	△ 77	0
	運輸業	△ 42	23	23	54	△ 31	11	0	46	54	△ 54	△ 23
	サービス業	△ 71	0	37	63	△ 63	8	6	13	81	△ 75	△ 12
雇用者の不足感	全産業	36	28	60	12	16	△ 20	33	58	9	24	8
	建設業	60	25	58	17	8	△ 52	42	41	17	25	17
	製造業	36	21	79	0	21	△ 15	15	85	0	15	△ 6
	卸売･小売業	15	23	62	15	8	△ 7	23	62	15	8	0
	運輸業	59	62	30	8	54	△ 5	62	38	0	62	8
	サービス業	25	13	68	19	△ 6	△ 31	25	62	13	12	18

（６）　釧路・根室

今期の業況感ＢＳＩは △ 53（前期から 11 ポイント下降）

主な上昇業種･･･繊維・衣類等卸売業（▲100→0）、飲食料品小売業（0→50）
測量業等の技術サービス業（▲100→0）

主な下降業種･･･機械器具設置工事業等の設備工事業（0→▲100）
飲料・たばこ・資料製造業（100→0）、機械器具卸売業（0→▲100）
廃棄物処理業（0→▲100）、機械等修理業（0→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 50 （今期から 3 ポイント上昇）

図５－(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

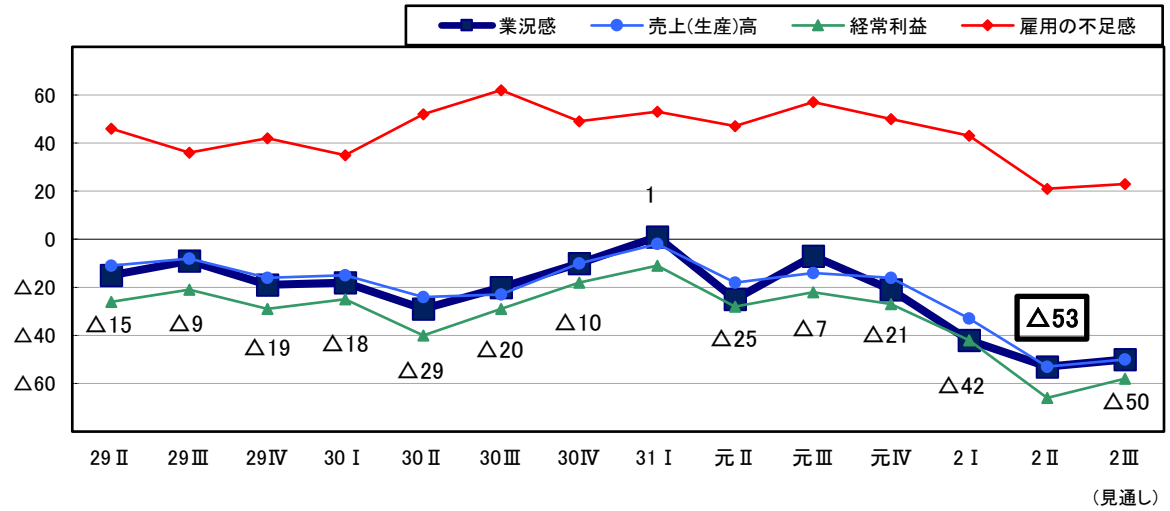


表５－(6) 地域別BSI（釧路・根室）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 42	3	41	56	△ 53	△ 11	3	44	53	△ 50	3
	建設業	△ 9	0	60	40	△ 40	△ 31	0	60	40	△ 40	0
	製造業	△ 18	0	67	33	△ 33	△ 15	0	67	33	△ 33	0
	卸売･小売業	△ 46	8	50	42	△ 34	12	8	34	58	△ 50	△ 16
	運輸業	△ 46	0	33	67	△ 67	△ 21	0	58	42	△ 42	25
	サービス業	△ 72	5	15	80	△ 75	△ 3	5	20	75	△ 70	5
売上（生産）高	全産業	△ 33	5	37	58	△ 53	△ 20	5	40	55	△ 50	3
	建設業	27	0	50	50	△ 50	△ 77	0	60	40	△ 40	10
	製造業	△ 18	8	67	25	△ 17	1	8	50	42	△ 34	△ 17
	卸売･小売業	△ 46	8	42	50	△ 42	4	8	34	58	△ 50	△ 8
	運輸業	△ 38	0	33	67	△ 67	△ 29	0	58	42	△ 42	25
	サービス業	△ 67	5	15	80	△ 75	△ 8	5	20	75	△ 70	5
経常利益	全産業	△ 41	2	30	68	△ 66	△ 25	3	36	61	△ 58	8
	建設業	0	0	50	50	△ 50	△ 50	0	50	50	△ 50	0
	製造業	△ 40	0	25	75	△ 75	△ 35	0	42	58	△ 58	17
	卸売･小売業	△ 50	0	42	58	△ 58	△ 8	8	25	67	△ 59	△ 1
	運輸業	△ 38	0	33	67	△ 67	△ 29	0	58	42	△ 42	25
	サービス業	△ 65	5	15	80	△ 75	△ 10	5	20	75	△ 70	5
雇用者の不足感	全産業	44	30	61	9	21	△ 23	29	65	6	23	2
	建設業	36	30	60	10	20	△ 16	20	70	10	10	△ 10
	製造業	45	33	67	0	33	△ 12	33	67	0	33	0
	卸売･小売業	40	33	50	17	16	△ 24	33	50	17	16	0
	運輸業	62	50	50	0	50	△ 12	50	50	0	50	0
	サービス業	35	15	70	15	0	△ 35	15	80	5	10	10

6　道内の景況感

今期の道内の景況感ＢＳＩは △ 81　（前期から 13 ポイント下降）

・業種別にみると、すべての業種でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感ＢＳＩは △ 63　（今期から 18 ポイント上昇）

図6　道内の景況感

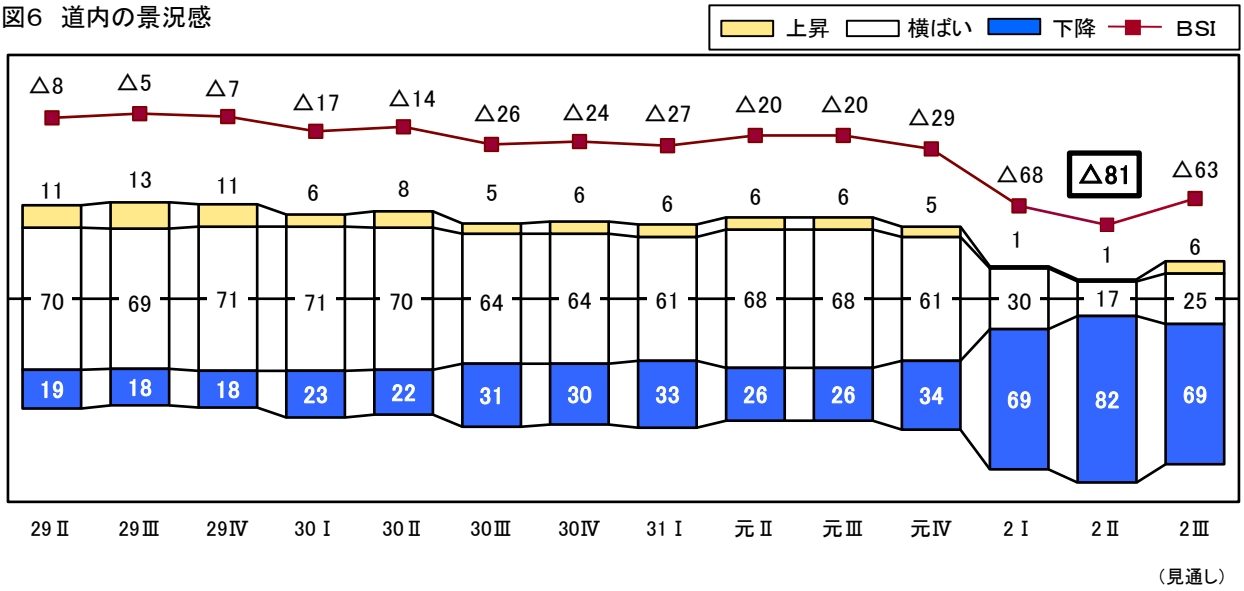


表6　道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年1-3月実績BSI	R2年4-6月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R2年7-9月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 68	1	17	82	△ 81	△ 13	6	25	69	△ 63	18
	札幌市を除く	△ 70	1	17	82	△ 81	△ 11	5	24	71	△ 66	15
	札幌市	△ 61	2	17	81	△ 79	△ 18	8	31	61	△ 53	26
業種	建設業	△ 55	0	24	76	△ 76	△ 21	7	27	66	△ 59	17
	製造業	△ 65	1	17	82	△ 81	△ 16	8	25	67	△ 59	22
	卸売･小売業	△ 78	2	17	81	△ 79	△ 1	6	27	67	△ 61	18
	運輸業	△ 67	1	20	79	△ 78	△ 11	3	30	67	△ 64	14
	サービス業	△ 72	1	12	87	△ 86	△ 14	6	20	74	△ 68	18
資本金	5千万円未満	△ 71	1	17	82	△ 81	△ 10	4	23	73	△ 69	12
	5千万以上～1億円未満	△ 64	1	14	85	△ 84	△ 20	8	25	67	△ 59	25
	1億円以上	△ 63	0	23	77	△ 77	△ 14	10	36	54	△ 44	33
地域	道南	△ 79	0	15	85	△ 85	△ 6	6	27	67	△ 61	24
	道央	△ 65	1	16	83	△ 82	△ 17	5	28	67	△ 62	20
	札幌市を除く	△ 70	0	15	85	△ 85	△ 15	2	25	73	△ 71	14
	札幌市	△ 61	2	17	81	△ 79	△ 18	8	31	61	△ 53	26
	道北	△ 69	1	19	80	△ 79	△ 10	8	17	75	△ 67	12
	オホーツク	△ 72	1	21	78	△ 77	△ 5	5	22	73	△ 68	9
	十勝	△ 69	1	17	82	△ 81	△ 12	7	17	76	△ 69	12
	釧路･根室	△ 61	0	20	80	△ 80	△ 19	5	32	63	△ 58	22

7　業種･圏域別企業経営者の声（令和2年4-6月）

【建設業】

道南	・建設業は今のところ影響はないが、次年度以降の公共工事の予算がどうなるのか心配しております。（土木工事業） ・コロナウイルス対策に予算が使われ、終息後の予算の減少に不安がある。（一般土木建築工事業）
道央	・過度の延命処置は新陳代謝を阻害し生産性を低下させるだけでなく未来の若者の夢や希望を奪うことになると思います。すべてに施策がいきわたるのは不可能である以上、誰かに頼るのではなく本来どうやって皆と生きていくのかを一人一人が覚悟と責任を以って考えなくてはいけないと思います。（建築工事業） ・未知なる感染症は、安全保障上も考慮されてきたはずなのに、これだけ混乱するのはなぜなのか。もっと冷静になって批判を恐れることなく、正しく恐れましょう。（総合建設業） ・新型コロナウイルスで先が見えません。歴史に残る感染症と思います。さらに、設備の更新には注意が必要と考えます。経営にも二者択一の事案もこれから出てくると思います。経営の体質を再度見直し改善して行きますが、時代の波に乗り遅れることなく事業を回して行く所存です。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・特別大きな心配はないが、民間や行政においても改善点は多くあると思う。明るい未来を創造したい。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・建設業にも新型コロナウイルスの影響は徐々に広がっている。新北海道スタイルと銘打ち新たな生活様式を北海道庁も啓蒙しているが、まだまだ社会の認識は不足している。メディアなどを最大限に活用して、新スタイルによる仕事の仕方や生活が当たり前となるよう一層の呼びかけをしていただきたい。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・ホテル部門の稼働率がアップするよう道内観光入込客数のアップに尽力願いたい。（木造建築工事業）
道北	・元請による発注の絞りが本年１月から大きく、契約も反故にされていても何の説明もなく困る。併せて新型コロナウイルスによる影響がこれから起きてくるだろうから、体力の無い中小企業の先行きが不安。減税などを期待する。（電気通信・信号装置工事業、卸売業） ・公共工事では、コロナウイルス感染症対策の影響は少ないと感じていますが、コロナ対策の費用が膨大になると考えると、今後、公共事業の執行が心配になります。景気対策として公共投資が行われるのか、減少するのか。地域の安全を守る建設業の安定した経営のため安定した予算の確保をお願いしたい。この関係ではコロナウイルスにより大きな影響を受け、規模の縮小など雇用者の削減を実施している方々の対策として、雇用の移動を速やかにできるような対策が必要と感じます。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・感染拡大の防止が最優先であるが、経済活動及び企業の維持、存続にも配慮した政策を長期的視点に立って展開して欲しい。また、各種補助金･助成金の支給要件や申請方法などについては、簡素化と柔軟な対応に期待しています。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・消費減税による内需拡大で景気回復させることを期待。（木造建築工事業）
オホーツク	・人の移動が制限されると、工事の進捗に影響が大きい（土木工事業（舗装工事業を除く））
十勝	・「新北海道スタイル」は理解していますが、企業によっては、新スタイルを行うことにより倒産が早まるだけのように感じます。単純に飲食店で考察すると現状でも厳しい世の中で、さらに店舗での集客数が減となり、客の回転数も決まっていることから、普通に生活できるほどの売上確保は 100%困難であると思われます。このことから、融資を得て数年の猶予があったとしても、返済すべき資金の見通しはなくなると思います。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・今後、様々な方面からのさらなる行政への投資や支援等の要望が予想されます。当社は公共事業の土木工事にその収益の大方をゆだねております。以前と比べ、土木建設業の経営環境は若干上向いては来ておりますが、いまだその施工環境の維持には厳しい状況が続いているのが実情です。まだまだ雇用への需要は多く、今までサービス業が吸収していた雇用を引き受ける可能性が十分あると考えています。公共事業投資がなおざりになり、地方の建設産業の形態が再び失われることになるのではないかと危惧を感じます。建設業界への投資は気を緩めずに、疲弊した他の産業を養生する受け皿として、さらなる雇用環境への投資を続けていただきたいと要望します。（土木工事業（舗装工事業を除く））

【製造業】

道南	・当社は水産加工業のため、作業中の衛生対応は今までも行ってきた。今回のコロナに際し、更に衛生管理を徹底している。当たり前ですが、手洗い・うがい・体温測定等々、週初めの朝礼や月に１度の全体会議にて衛生指導している。（塩干・塩蔵品製造業） ・持続化給付金の要件となる売上減少率を下げていただきたい。（水産食料品製造業） ・海外でも混乱は継続しており、今こそ道産品の輸出に力を入れるべきタイミングでは。道内景況感の下降は継続しますので、外からお金を北海道に入れていくべき。（紙製容器製造業）
道央	・農機具業界はコロナの影響が時間差でやってきている。今よりも秋以降の売上維持が心配である。道には、短期的ではなくて長期的かつ継続的に中小企業への支援策を継続してもらいたい。またコロナ終息後の経済の活性化にも力を注いでほしい。（農業用機械製造業（農業用器具を除く）） ・業種によっては非常に大きな傷を負っている所もある。行政の今までの努力に敬意を表するとともに、さらなる援助をお願いしたい。（コンクリート製品製造業） ・「新北海道スタイル」に取り組んでも、コロナの治療薬が開発されるまでどうしても自粛傾向となり、従来の経済活動に戻れるとは思えない。（調味料製造業） ・弊社として一番の課題は、従業員の高齢化です。人数的には大きく不足しているという程ではありませんが、年齢構成のバランスが悪く、高齢社員が抜けた後、必要な人員を確保できるか不安があります。（外衣・シャツ製造業）
十勝	・直面している課題で最も大きなものは、ＷＥＢ販売への対応と従業員の健康管理です。 （水産食料品製造業） ・国内･国外の各空港の稼働が通常に戻り、国内及び国際イベント（各種スポーツ・芸術・芸能・展示会等）の開催が早く行われることを望む。（菓子・パン小売業（製造小売）） ・当社の場合、現状では予定受注の中で回っており、コロナの影響は世間一般に比べ少ないと考えている。しかし、今後この影響は徐々に浸透してくると想定しておかなければならない。それを見据えた営業方針のもと、企業活動を行っていきたい （建設用・建築用金属製品製造業（製缶板金業を含む））
釧路・根室	・今回のコロナ禍は中小企業にとっては大変なことです。行政として何をおいても早急に対応してほしい。（製材業、木製品製造業）

【卸売・小売業】

道南	・婦人服は、旅行･各種行事等があれば需要が生まれます。外に出る機会が無くなると、服を買う必要性も無くなります。（婦人・子供服小売業） ・いざとなると民間金融機関は、なにもしてくれない。（米穀類卸売業） ・まずは北海道の感染者がゼロとなることが大事であり、ゼロの継続で見通しが出てくると思う。 （その他の織物・衣服・身の回り品小売業）
道央	・今後もまだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が懸念され、先行きの予測が全くできません。 （燃料小売業） ・新型コロナウイルス感染症対策について、誇大な発言はしてほしくない。今後も完全になくなるものではないので、「新北海道スタイル」の提唱を強く呼びかけ、経済をこれ以上止めないようお願いしたい。（建築材料卸売業） ・このままでは無くなってしまう中小企業が増えます。助成制度の申請書類の簡素化とスピード感が足りないと思います。（衣服卸売業） ・新型コロナウイルス感染症対策のため相当の税金を使用し、大量の赤字国債も発行している。日本は自然災害もますます多くなっている。この様な私達の税金の使い方で国を維持していけるのかしっかり考えて欲しい。お金が足りなくなって、また税率を上げることにはなって欲しくない。 （建築材料卸売業、土木建築材料卸売業） ・今回のコロナによる自粛は、規制緩和に関係なく相当期間長引くものと考えているので、国、道等の思い切った経済対策がないと、企業の存続は難しいと考えている。（衣服卸売業） ・公共工事の需要拡大と、年末にかけて工事減とならないような発注時期の見直しを望む。 （燃料小売業） ・当社は中小企業であり、今後の不安もありますが、なんとか力を合わせて共に元気な北海道を目指し頑張りましょう。（機械器具小売業（自動車，自転車を除く）） ・取引先に中小企業が多く、特に秋以降の資金繰りに不安を持たれている会社が多いので、融資の充実をお願い致します。（建築材料，鉱物・金属材料等卸売業）

道央	・原材料値上げ圧力が強く、年初に今年７月からの値上げで合意をしているが、想定外の環境の中、全てを価格転嫁するのは非常に厳しい状況で、来期（７月－翌年６月）の経営計画を立てるのに苦慮している。（衣服卸売業）
道北	・大会社は優遇されて守られている感が強いが、我々のように個人会社の者は見離されている。（自動車小売業・整備業） ・先が見えないので、新しい販売方法に取り組みたい。（食肉卸売業） ・売上が落ちる中、利益率を上げるためロスを少なくするよう取り組んでいる。店舗売りに集中し、魅力の発信に努めたい。（飲食料品卸売業）
オホーツク	・同業者でもまったく、新型コロナウイルス感染症の対策を講じてない会社がある。例えば、社員がマスクをつけていない。顧客の車両に手袋等なしで乗り込む等がある。今のところ、発症者は出ていないが懸念される。（燃料小売業） ・経営は決して良い方向には行ってはいませんが、新型コロナウイルス感染症の終息を早い段階で進めていただければ、当社もやっていけるめどが立つのではないかと思います。今の従業員･パート従業員を解雇することなく進めていきたいです。（野菜・青果卸売業） ・先が見えないほど不安なものはない。コロナ対策で来年度の公共事業費が減らされるのは目にみえているので困っている。（建設資材卸売業）
釧路・根室	・直近では資金繰りが課題。今後については、消費の回復と各施設の効率アップが課題。（婦人服小売業） ・人員不足が課題。（その他の建築材料卸売業） ・現在はそれほど売上が落ちているわけではないが、秋以降から来年にかけて不安はある。来年の税収はかなり厳しいと思われるので、国や道または市が来年度予算を組めるのか大いに心配。（衣服卸売業）

【運輸業】

道南	・現状では運転手は過剰だが、コロナ禍が収まればまた足りなくなることが予想される。残業も減り給料も少なくなっているので、繋ぎ止めることが難しい。（一般貨物自動車運送業）
道央	・我々中小企業は自ら自身を守る経営を必死にしている。よって一律助成すべきでは？（道路貨物運送業） ・大変です。持ちこたえて正常化を待ちます。（一般貸切旅客自動車運送業）
オホーツク	・人員不足が課題。（一般乗用旅客自動車運送業） ・日本は、本当の感染者数が拡充している事態を受け止めていない。本当に収束を考えるならば、ＰＣＲ検査の拡充と抗ウイルス剤の早期開発しかないのではないか。（一般乗用旅客自動車運送業）
十勝	・燃料価格が大きく下がり利益率が上がったが、今後また燃料価格が上がることを懸念している。（一般貨物自動車運送業） ・感染状況に関する情報発信を強く望みます。（乗合・貸切旅客自動車運送事業） ・新型コロナウイルス感染症の早期終息を期待。（一般乗用旅客自動車運送業）
釧路・根室	・今後も運輸収入が減ると、経営の持続が困難になる。従業員の生活を守るためには、休業は出来ない状態です。（一般乗用旅客自動車運送業）

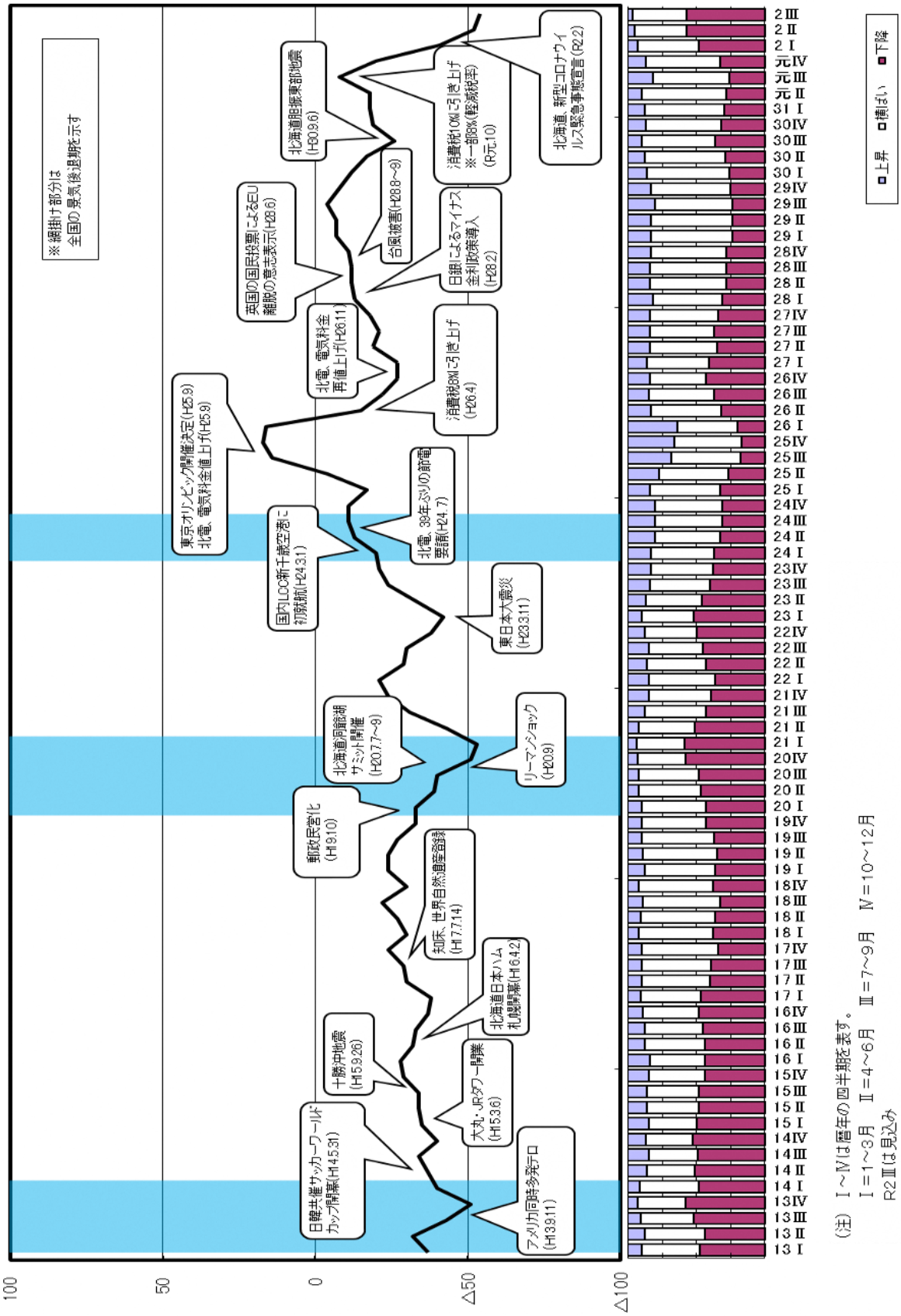
【サービス業】

道南	・新型コロナウイルス感染症で先の見通しが立たないです。（労働者派遣業） ・早期のワクチン開発を期待している。（すし店） ・消毒液、窓の開閉の励行、注意喚起をしており、ワクチン等の早期開発が切望されます。早々の正常生活をできるようにと考えております。（電気通信に附帯するサービス業） ・こういう状況なので、全般に公共投資を増やしてほしい。（測量業） ・持続化給付金も１度ではなく、沈静化まで数回給付してほしい。（旅館，ホテル） ・過去に経験したことのない企業の存亡に係る問題である。道の助成金も複雑なことを要求するのではなく、簡便で申請しやすいものとしてほしい。（旅館，ホテル） ・この先、どのように仕事に取り組んだらよいかわからない。（普通洗濯業） ・広大な北海道であり、緊急事態宣言は振興局単位で良いと思う。（自動車整備業）

道央	・みんな大変な思いをしていると思いますが、会社としてマスクや消毒剤を少々でも備蓄しておく必要があると思いました（建物サービス業） ・速く治験など進め、ワクチンや治療薬を開発してほしい。結果、それが最大の対応になる。（警備業） ・新型コロナウイルスの感染が早く終息しますようにただただお願いするのみです。どうぞ我々のような小規模会社をお助けください。（配達飲食サービス業） ・支援金･給付金の拡充及び早期対応を願います。（労働者派遣業） ・助成金･貸付などの手続を簡素化してください。（酒場，ビヤホール） ・今後、感染が拡大しないよう、外国からくる旅行者･ビジネスマン等への対応をしっかり行なっていただきたい。（その他の技術サービス業） ・震災後のクーポン同様、大々的にキャンペーンをして欲しい。（旅館，ホテル） ・お客様が来ない。（専門料理店） ・早くコロナが終息してほしい。（その他の洗濯・理容・美容・浴場業） ・測量技術者が不足しており、資格を習得できるような専門学校を開設してもらいたい。（測量業） ・エンジン全開でワクチンを早く開発してほしい。（洗濯業） ・存続の危機です。（旅館，ホテル） ・観光は回復が遅いためスピードを上げて回復にお力添えをいただきたい。借り入れも返済しなければいけない。当たり前のことですが返済が始まってからのケアーが必要と考えます。（旅館，ホテル） ・新型コロナウイルスの終息と景気回復を期待している。（自動車整備業） ・現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、働きたくても働けない人材（特に非正規の方々）を必要としている企業（農業・水産加工・食品製造等）にご紹介しておりますが、働けない人材と人材を必要とする企業双方に情報発信できるようなシステムの構築をお願いいたします。例えばＳＮＳの活用等。（労働者派遣業） ・情報が錯そうし、「どうみん割」に関してはかなり振り回された感じを受けている。全く情報が無い中で予約窓口に電話が殺到し、当方の信用問題となっている。上手に対応できずに、お客様へご迷惑をおかけしました。（旅館，ホテル） ・公共事業の下請会社ですが、建設コンサルタント等が事態を理由に工期を不当に延ばすと、下請けをしている弊社の仕事がなくなります。（土木設計業） ・コロナ感染症の拡大防止策と医療体制のバランスを早く整えることを期待します。コロナ感染症対策に関わる行政の皆様ご苦労様です、頑張ってください。（旅行業） ・先が見通せない辛さを痛感しています。早期の新薬の開発に期待しています。（産業廃棄物処理業） ・新型コロナウイルスにより客数が激減しているので、商店用のプレミアム商品券の配布をお願いしたい。（美容業） ・常連を含むハードユーザーは帰ってきているが、室内の密閉空間に関する風評被害により予約が皆無なので、どうすれば払拭できるかと考えるが、解決策は見つからない。新聞広告とＳＮＳ等で情報を発信していくくらいである。コロナが感染拡大しないことが肝心であるが、ワクチンが行き渡り、終息宣言がこちらの息絶える前に出てほしい。（スポーツ施設提供業） ・コロナウイルスの治療薬とワクチンの開発を期待している。（旅行業） ・宿泊・観光にはＧｏＴｏキャンペーンが発表されていますので大いに期待するところです。しかし世界的に終息に向かうまでまだまだ道のりは厳しく、日本、北海道の宿泊･観光業もかなりの数が淘汰され、やむなく廃業に追い込まれるでしょう。国内の需要喚起のために安心安全はもとより、１日も早いワクチンと有効薬の開発を期待します。助成事業に関しては、エージェントが受ける恩恵が大きすぎると思うので､ホテル･旅館独自の宿泊割引のクーポン等も対応できる支援策が出来れば良いかと思います。（旅館，ホテル） ・コロナ禍の影響で、各種民間事業者の設備投資が減少し、建設関連業種まで波及する恐れがあるため、現在直接的なダメージを受けている業種への積極的な支援策の打ち出しをお願いしたいです。（産業用機械器具賃貸業） ・マスクや１人 10 万円給付とか個人宛のバラまき施策ではなく、真に困っている人や業界に対し施策を行うべきでは。（旅館，ホテル） ・新型コロナウイルスの検査体制の拡充、医療体制の整備、需要喚起策の拡充･支援等を期待する。（旅行業）

道北	・「どうみん割」の予算拡充を望む。（旅館，ホテル） ・助成金については、申請を簡素化し、資金の配当をよりスピーディーにしていただきたい。 （警備業） ・大至急サービス業に対する助成金を望む。（冠婚葬祭業） ・若手人材の不足（土木建築サービス業）・ウイルスが相手なので今後の対応はかなり難しいと思いますが、宿泊業や観光業が安心して営業できるよう、生の声を今後も聞いて、問題解決に取り組んでいただきたいと思います。中小企業と大企業では直面する問題も異なります。うちは古く規模が小さいホテルなので、新たに設備投資をしたくても出せる額がごくわずか、またスペースもありません。現状でできることをなんとか行っている状況です。また、ホテルなので常に人が待機する必要があり、売上が落ちている中、人員を雇う余裕がありません。今後、長期間続く可能性を考えると、客室が少ない当ホテルは、確実に売上は横ばいまたは落ち込むと予想しています。行政には資金繰り以外の心配事を相談できるような窓口を作るなど、寄り添った対策を期待します。（旅館，ホテル）
オホーツク	・北海道全体の業種で使えるようなプレミアム商品券があると便利と思います。（旅館，ホテル） ・人手（技術者）不足。採用をかけても人が集まらない。人手不足と労働時間の規制の中、納期に追われ板挟み。労働者保護ばかりでなく、経営者を守る政策も少しは行っていただきたい。 （自動車整備業） ・客足がなく売上がない。商売にならない。（専門料理店（日本料理店）） ・とにかく、創立後 120 年間で最大の危機。突破に向け頑張ってはいるが、非常に厳しい。支援のキャンペーンもありがたいが、今、旅行を呼び掛けても感染のリスクがある以上、効果は限定的と思う。近々の需要喚起ではなく、将来使える公的システムとして金券の販売など終息までの資金確保が手軽にできるシステムを期待している。（旅館，ホテル）
十勝	・企業の負担軽減策を双方向で取り組んでいただけることを期待したい。 （食堂、レストラン（専門料理店を除く）） ・支援金･給付金･助成金の拡充をお願いしたい。（旅館，ホテル） ・今、地方では技術力はあるが仕事の機会が減って、技術や人員を維持できない企業が水面下で増えてきています。そこで、地方の仕事は地方企業が関われるように、入札の仕組みを見直してほしいと思います。このままでは、緊急時に対応できる企業が地方に無くなってしまいます。また、仕事は次の世代の技術者を育てる機会でもあります。経済面でも、地方に落ちる経済的恩恵が都市圏に吸い上げられています。ぜひ地方企業が仕事の機会を増やせるよう、努力をすればスタート地点に立てるような仕組みをつくってもらいたいと思います。（建築設計業）
釧路・根室	・大きくなく、個人事業主でもない小さい会社が大変。50%以上ではなく 30%以上の売上減少でも給付金を支給してくれる制度があれば助かる。（美容業） ・３密の対策が、結婚式、卒業式、成人式など当社の貸衣装部との連携で着付けの予約の見通しがつかず、不安です。（美容業） ・事態収束に向けた取組をし、収束の目安を出してほしい。（旅館，ホテル） ・当社の取引先はすべて東京のため、道内の景気にはあまり影響しませんが、地元の景気は大変良くないと感じております。景気の回復を願います。（情報サービス業） ・先が全く分からなくて、融資を受けても返せるか不安です。支援金なら有難いです。でもとても遅いです。スピードが大事と言っていますが、本当に遅いです。（旅館，ホテル） ・各種手続きの迅速化に向けたシステムの構築を期待する。（専門料理店） ・何も期待していない。収束すればすぐに戻る。（旅館，ホテル） ・ビジネスホテルです。「新北海道スタイル」に取り組む中で、マスクをしていないお客様にはチェックイン時に着用のお声がけと、お持ちでなければひとつ差し上げています。だいたいの方はその場で着用してくれますが、中には差し上げても一切着用しないお客様もいます。施設側はルールを決めて徹底して対策・運営していますが、利用客にその意思がなければ対応するスタッフも疲弊してしまいます。例えば理由なしにマスク着用や手指消毒を拒むお客様に対しては施設利用をお断りできるなど、もう少し強制力が欲しいと思います。（旅館，ホテル）

8　業況感の長期推移



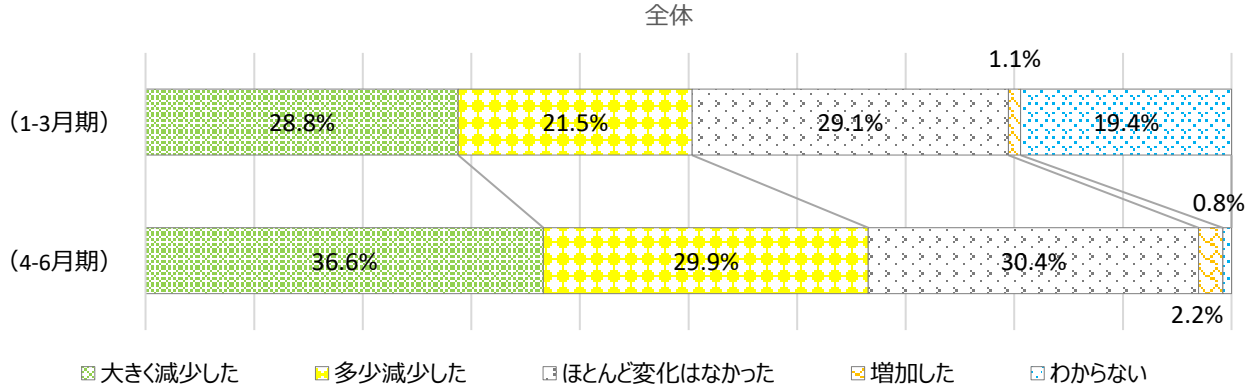
(注)　Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月
R2Ⅲは見込み

3　特別調査

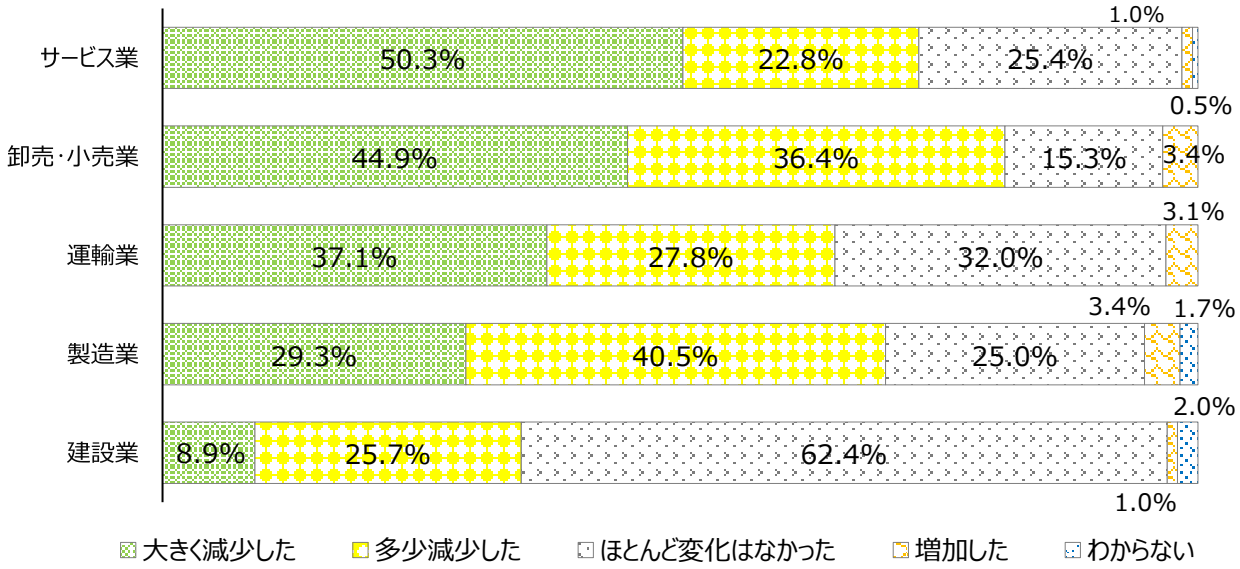
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

1　本年２～５月における売上･利益等への影響の程度について

・全体では「大きく減少した」が 36.6%、「多少減少した」が 29.9%と、66.5%の企業が「減少した」と回答している。前回（１－３月期）調査との比較では、「大きく減少した」と「多少減少した」の割合がそれぞれ増加している。

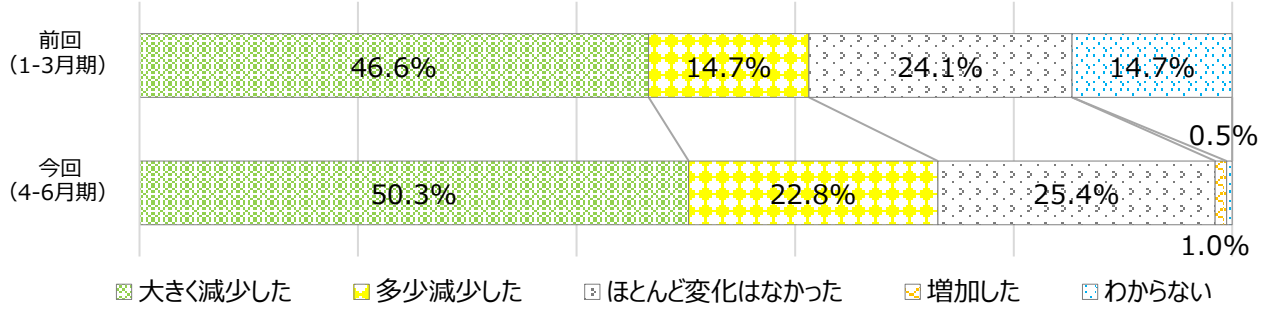


・業種別では、「大きく減少した」と回答した企業はサービス業で 50.3%と最も高く、次いで卸売･小売業が 44.9%、運輸業が 37.1%となっている。一方、建設業は 8.9%と最も低くなっている。

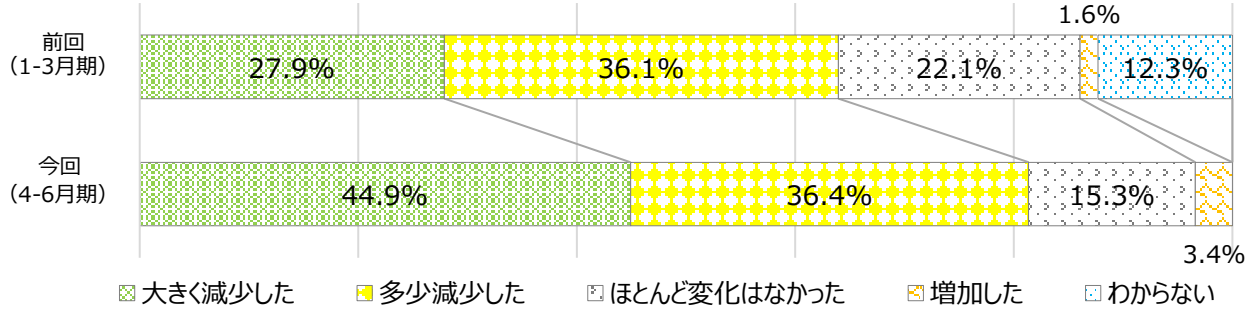


前回調査との比較では、卸売･小売業で「大きく減少した」と回答した企業の割合が最も大きく増加している。

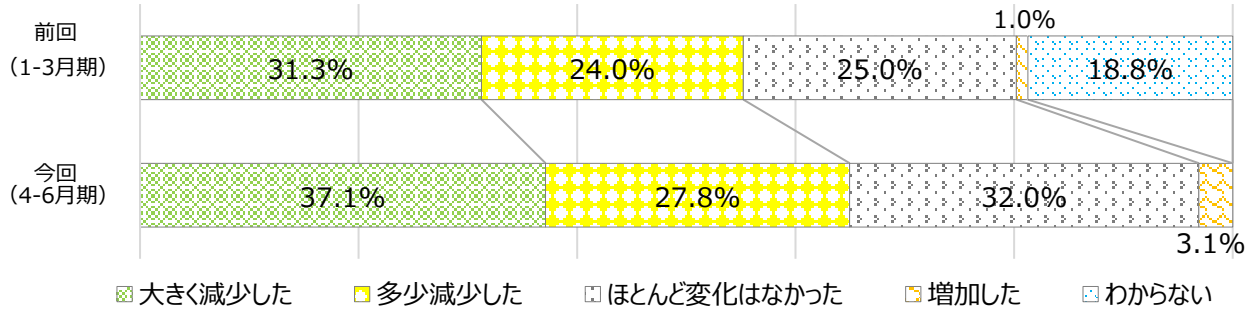
サービス業



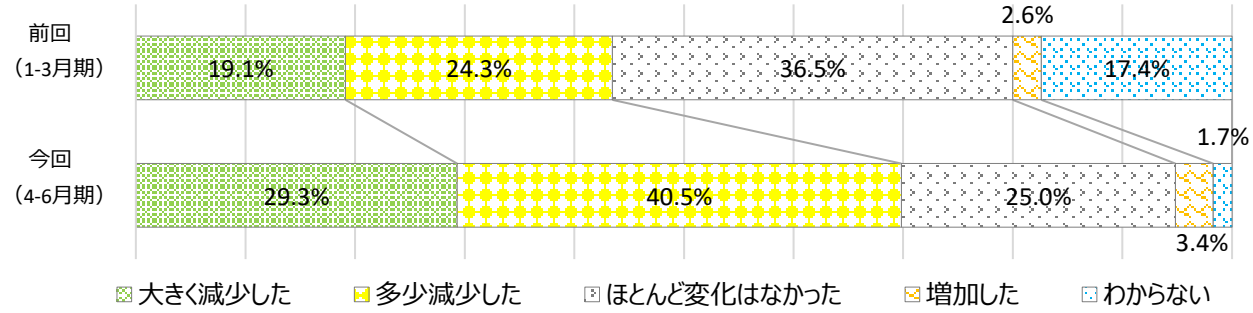
卸売･小売業



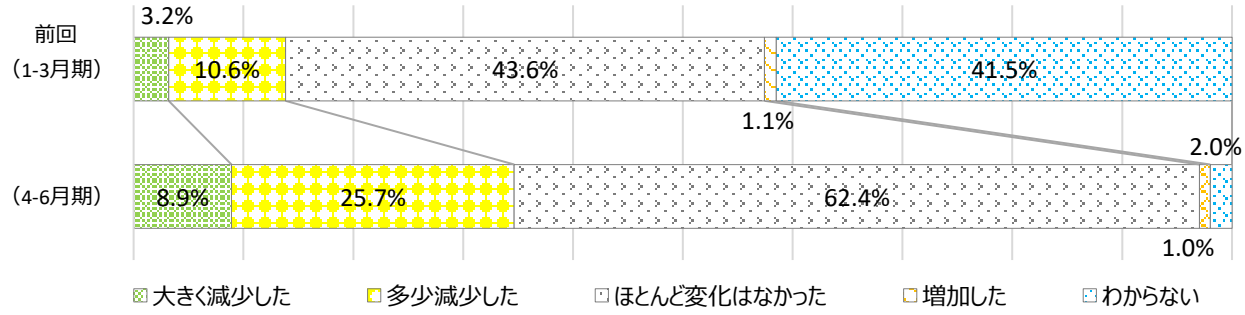
運 輸 業



製 造 業

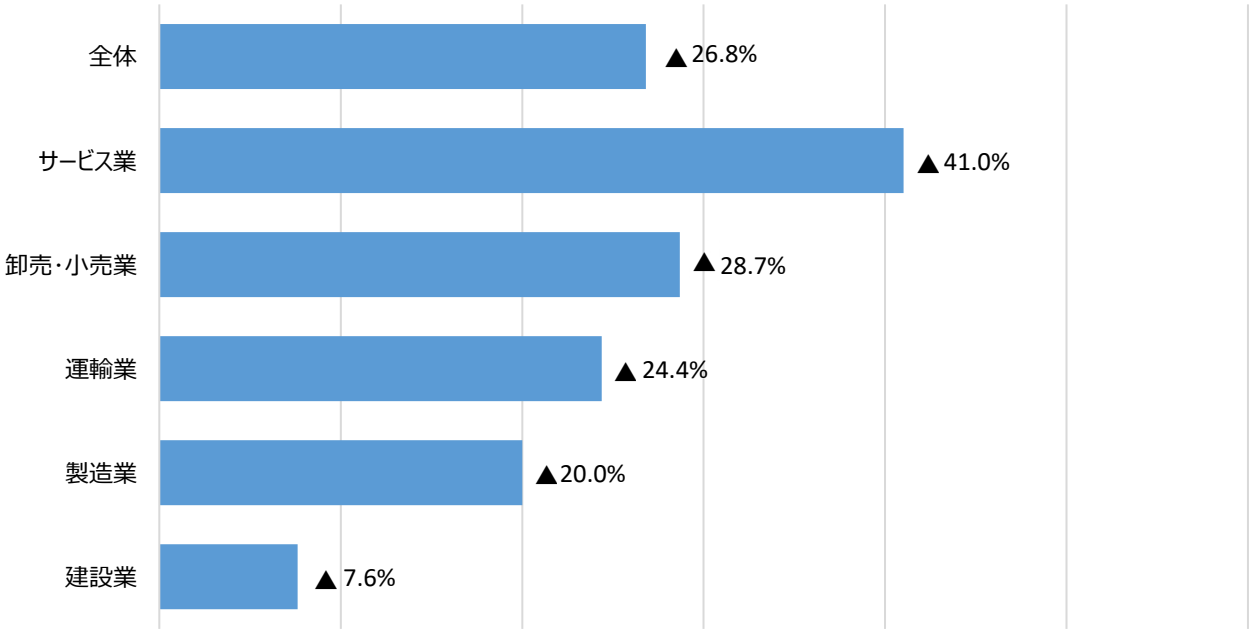


建 設 業



２　令和２年の２～５月における売上の前年同期比減少率

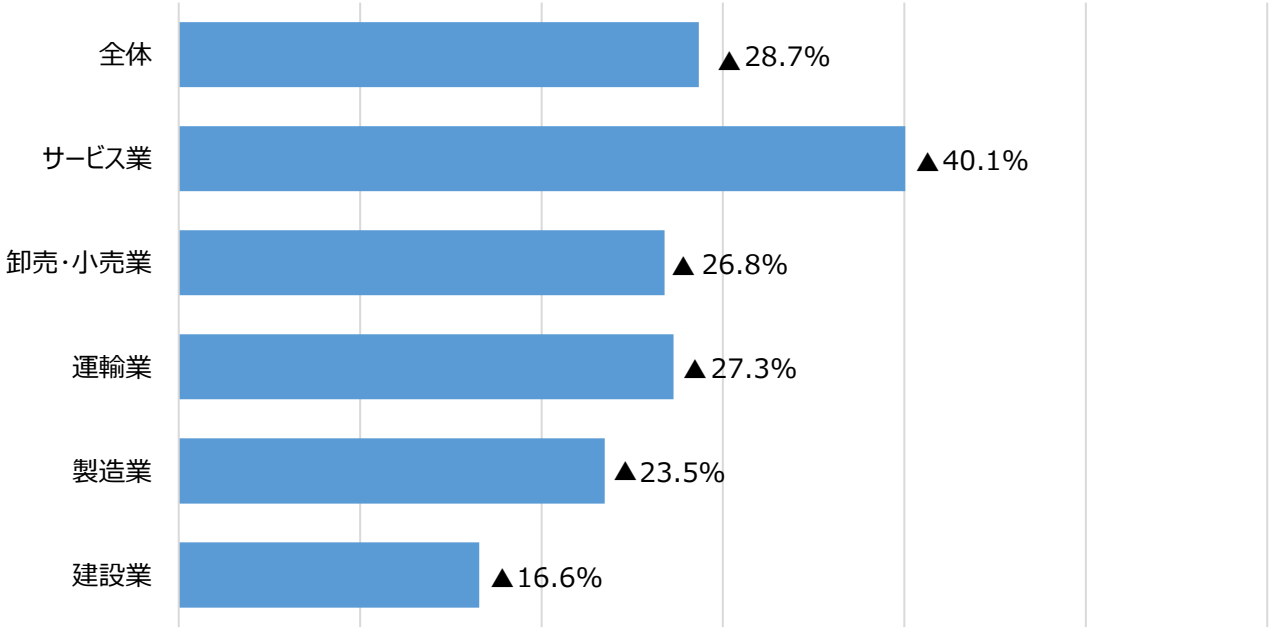
本年２～５月における売上の前年同期比減少率の平均は、全体では▲26.8%で、業種別ではサービス業が▲41.0%と最も減少率が大きくなっている。



３　令和２年の１年間における売上の前年比減少率予想

令和２年における売上の前年比減少率予想の平均は、全体では▲28.7%で、業種別ではサービス業が▲40.1%と最も減少率予想が大きくなっている。

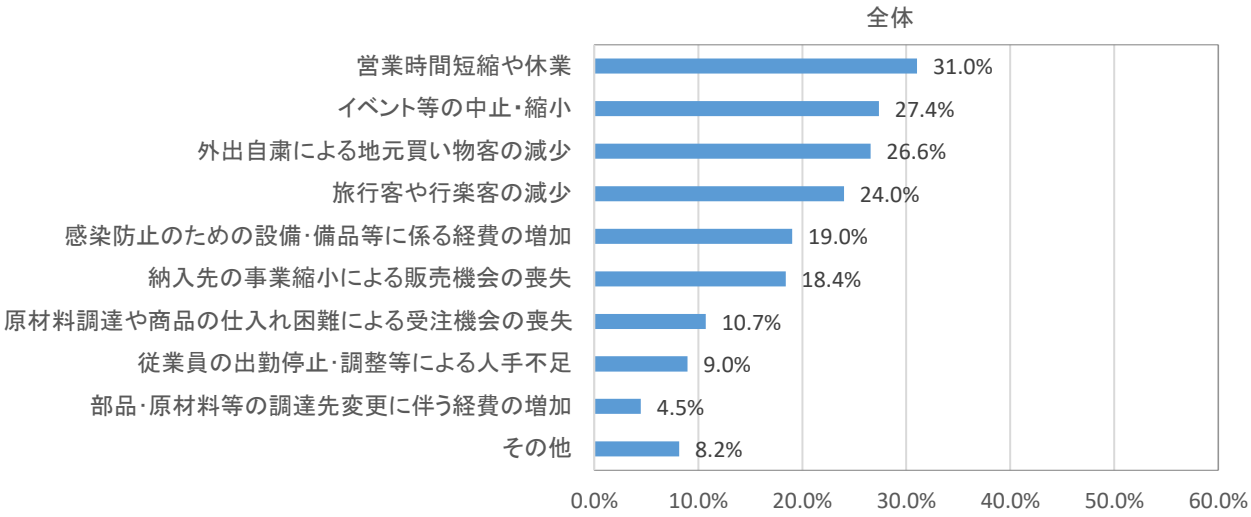
また、２～５月との比較では、サービス業と卸売･小売業でわずかに減少率の緩和を予想しているものの、その他の業種では拡大を予想している。



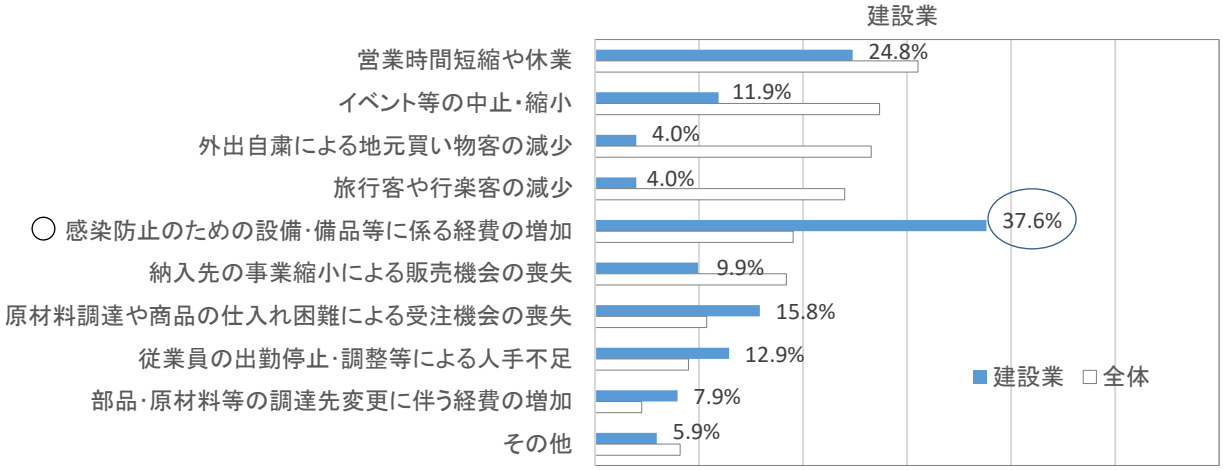
4　売上･利益等が減少した場合の具体的要因

最も多かった回答は「営業時間短縮や休業」の 31.0%で、次いで「イベント等の中止･縮小」が 27.4%、「外出自粛による地元買い物客の減少」が 26.6%、となっている。

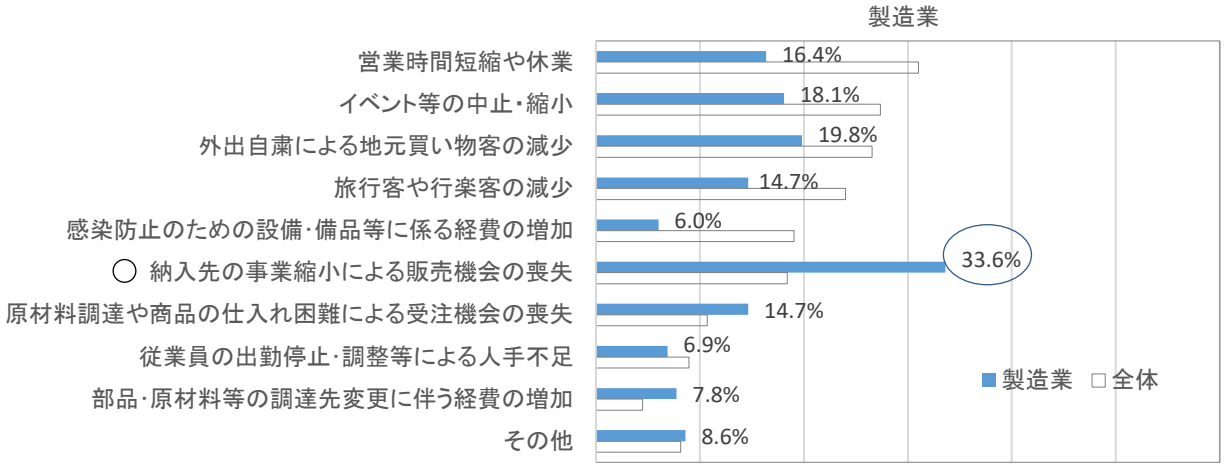
（複数回答）



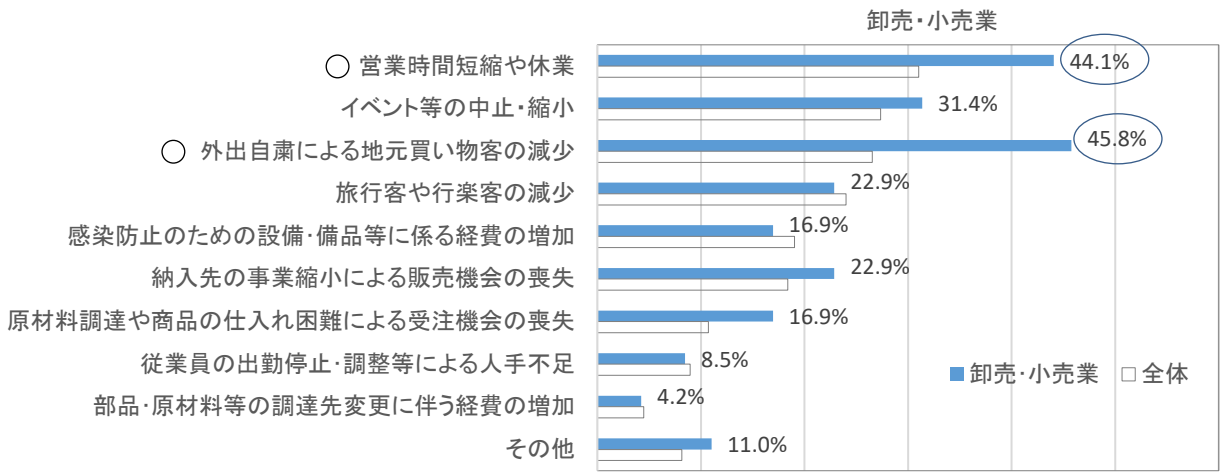
・建設業では、「感染防止のための設備･備品等に係る経費の増加」が大きな要因となっている。



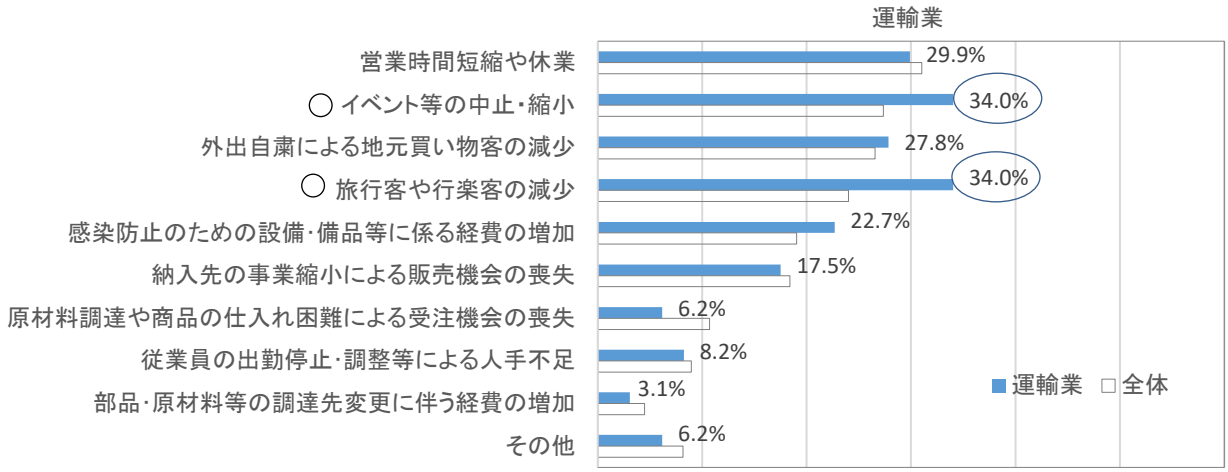
・製造業では、「納入先の事業縮小による販売機会の喪失」が大きな要因となっている。



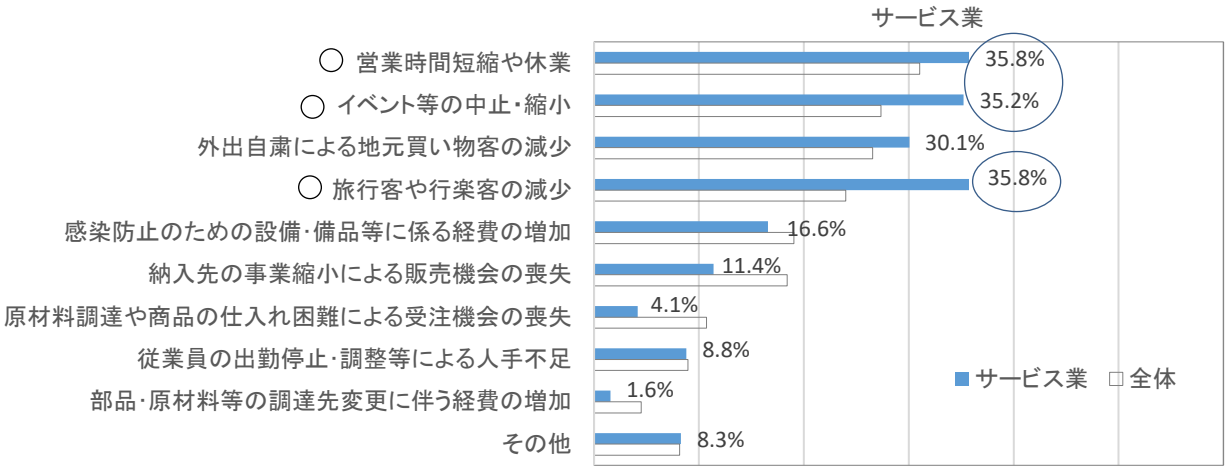
・卸売･小売業では、「営業時間の短縮や休業」と「外出自粛による地元買物客の減少」が大きな要因となっている。



・運輸業では、「イベント等の中止･縮小」と「旅行客や行楽客の減少」が大きな要因となっている。

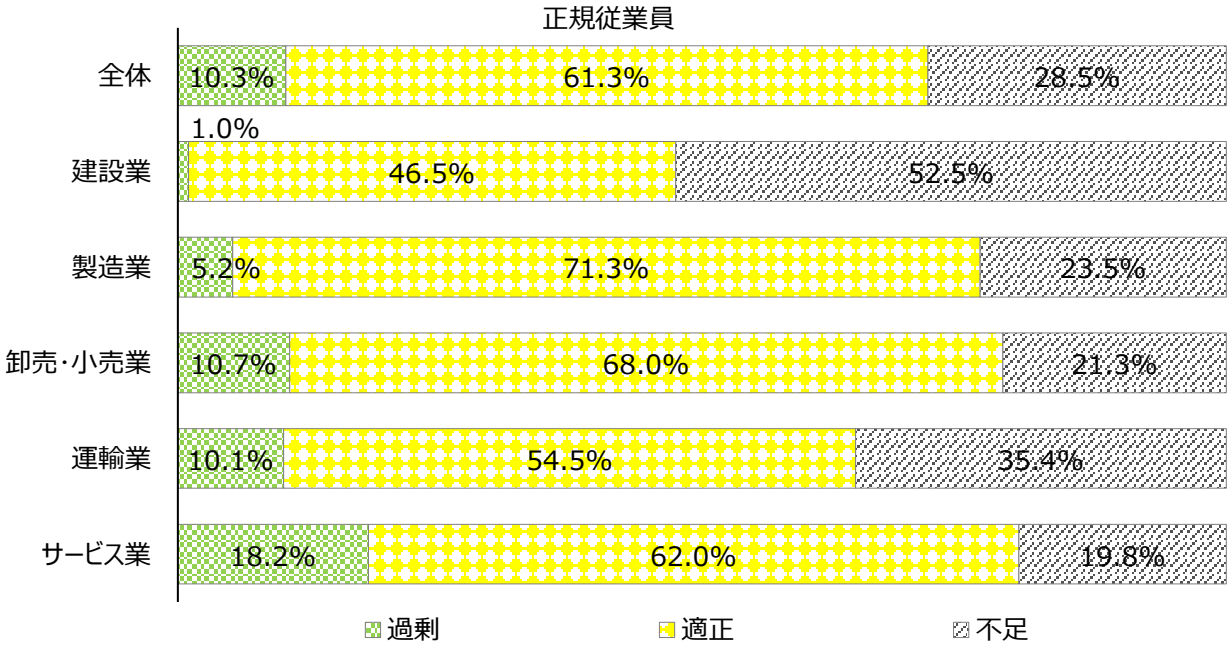


・サービス業では、「営業時間の短縮や休業」、「イベント等の中止･縮小」、「旅行客や行楽客の減少」が大きな要因となっている。

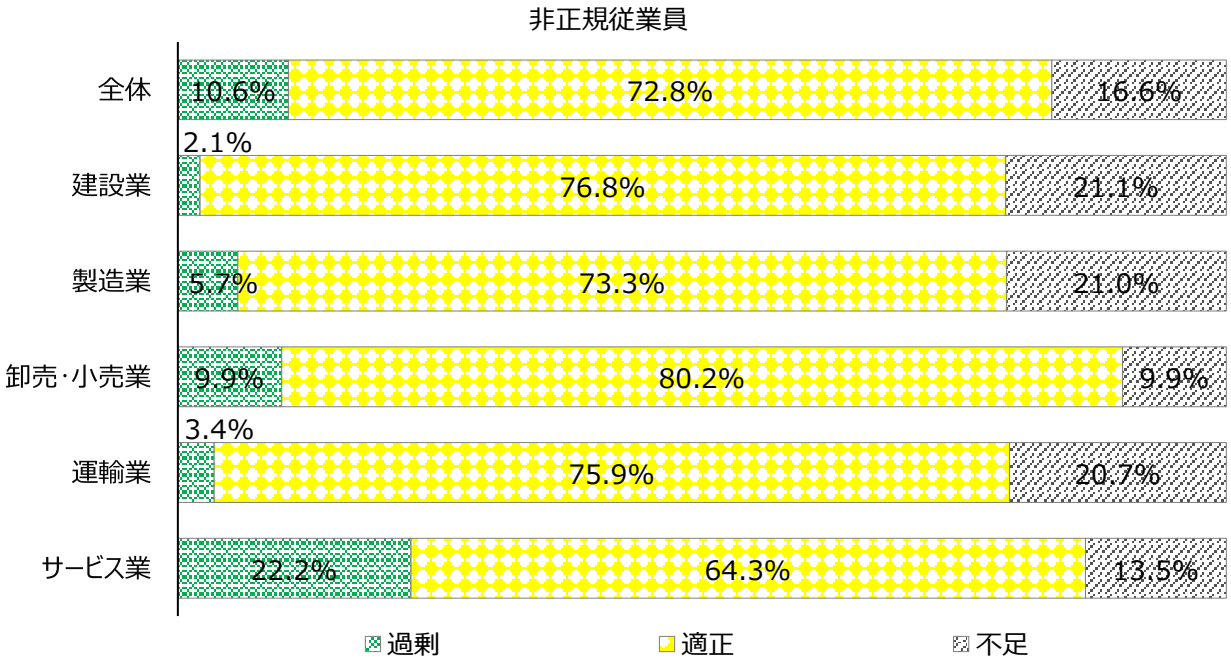


５　正規及び非正規従業員の過不足感

正規従業員については、全体では「過剰」が 10.3%で、「適正」が 61.3%、「不足」が 28.5%となっており、不足感が過剰感を上回っている。「過剰」が最も多いのはサービス業の 18.2%で、「不足」が最も多いのは建設業で 52.5%となっている。



非正規従業員については、全体では、「過剰」が 10.6%で、「適正」が 72.8%、「不足」が 16.6%となっている。業種別では、サービス業で「過剰」が「不足」を上回っている一方、建設業、製造業、運輸業では「不足」が「過剰」上回っている。

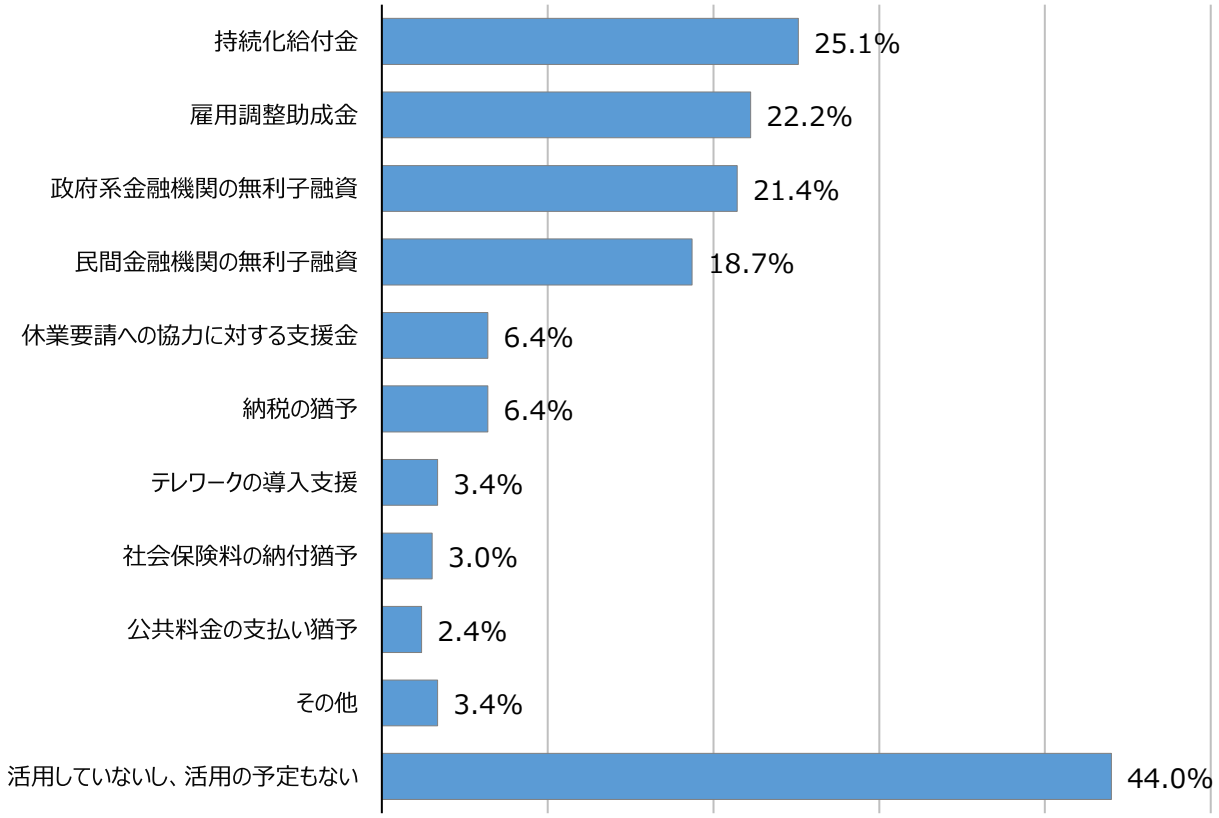


６　国、道等の助成制度のうち活用したもの（予定を含む）

助成制度を活用しているもののうち最も多かった回答は「持続化給付金」の 25.1%で、次いで「雇用調整助成金」が 22.2%、「政府系金融機関の無利子融資」が 21.4%となっている。

一方、半数近くの企業が「活用していないし、活用の予定もない」と回答している。

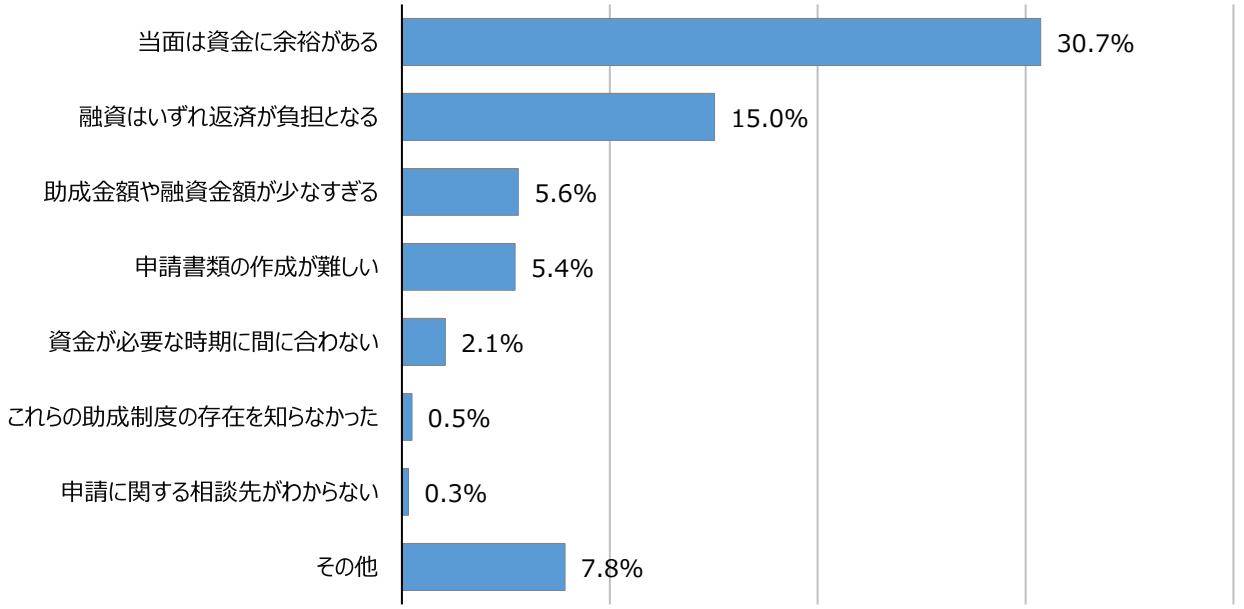
（複数回答）



７　国、道等の助成制度の一部又は全てを活用していない理由

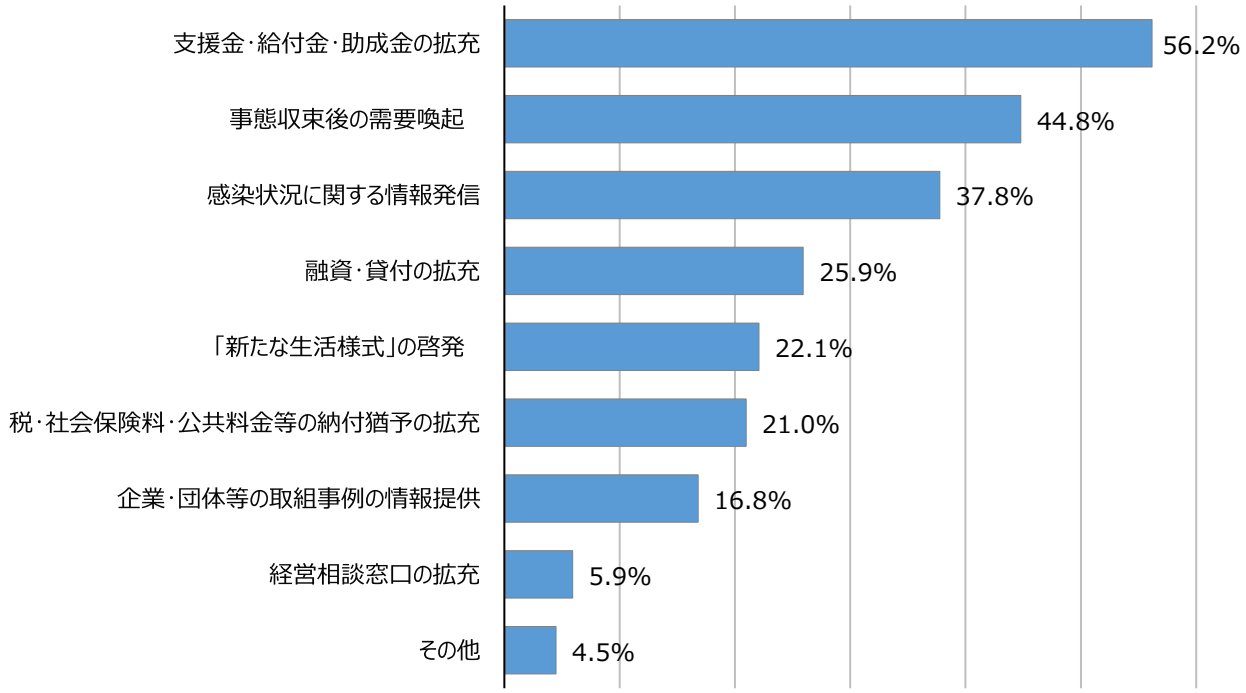
最も多かった回答は「当面は資金に余裕がある」の 30.7%となっている。

（複数回答）



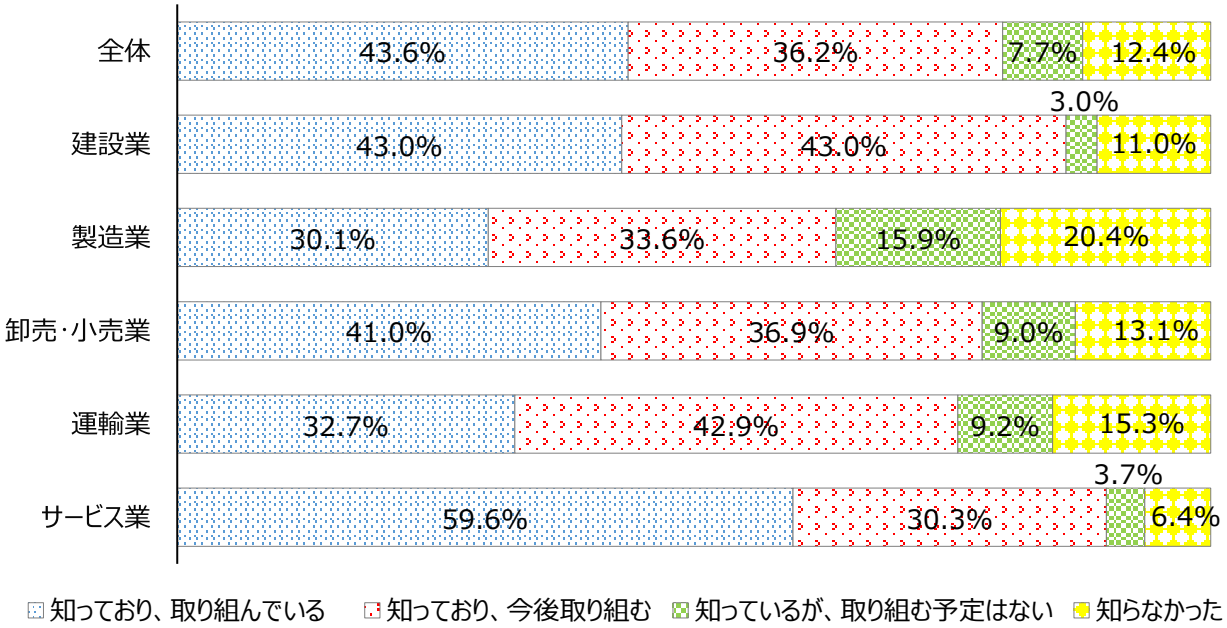
８　感染症による影響に関し、行政（国、道等）に期待すること

最も多かった回答は「支援金･給付金･助成金の拡充」の 56.2%で、次いで「事態収束後の需要喚起」が 44.8%となっている。（複数回答）



９　「新北海道スタイル」の認知度

道が提唱している「新北海道スタイル」については、全体では、「知っており、取り組んでいる」が 43.6%、「知っており、今後取り組む」が 36.2%で、合わせると認知度は 79.8%となっており、業種別では、サービス業で最も高く、「知っており、取り組んでいる」が 59.6%となっている。



4　調査方法

１ 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

２ 調査時点

令和２年６月30日

３ 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

４ 調査対象及び回答企業数

区　分		調査対象企業数（Ａ）	回答企業数（Ｂ）	回答率（Ｂ／Ａ・%）
総　計		900	639	71.0
	札幌市を除く	700	504	72.0
	札幌市	200	135	67.5
業種	建設業	125	101	80.8
	製造業	150	117	78.0
	卸売･小売業	189	123	65.1
	運輸業	131	100	76.3
	サービス業	305	198	64.9
資本金	5千万円未満	617	426	69.0
	5千万以上～1億円未満	157	114	72.6
	1億円以上	126	99	78.6
地域	道南	109	87	79.8
	道央	382	260	68.1
	札幌市を除く	218	136	62.4
	札幌市	200	135	67.5
	道北	132	85	64.4
	オホーツク	89	73	82.0
	十勝	94	68	72.3
	釧路・根室	94	66	70.2

（注）［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

５ ＢＳＩ（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各ＢＳＩ指標を次により算出。

ＢＳＩ＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「下降」とする企業の割合（%））
（－100≦ＢＳＩ≦100）

【計算例（企業数：200社）】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「下降」とした企業60社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス20　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第 126 回）

令和２年７月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/bsi.htm